Network Monitor for Admin

操作ガイド

1 Network Monitor for Adminとは
2 Network Monitor for Adminのインストール
3 機器の管理
4 アドレス情報の管理
5 ユーザー情報の管理
6 付録

ご使用の前に、本書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、本書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

目次

この本の読みかた....4
マークについて....4
用語について....4
画面について....5
本書の表示について....5
おことわり....6
商標....7
1. Network Monitor for Admin とは
Network Monitor for Admin でできること....9
2. Network Monitor for Admin のインストール
動作環境....11
インストール....13
上書きインストールする....13
アンインストール....15
3. 機器の管理
機器の状態表示....17
機器検索一覧画面の検索監視条件を設定する....17
機器を検索する/機器の状態を確認する....20
Web ブラウザで機器の状態を確認する....21
情報画面で機器の状態を表示する....22
機器のグループ管理....27
グループを作成する....27
グループに機器を追加する....27
グループ間で機器をコピー/移動する....28
グループを開く....28
グループを削除する....31
グループから機器を削除する....31
グループ情報を Hosts ファイルとして保存する....31
Hosts ファイルをグループとして開く....32
トータルカウンターの情報を出力する....33
省エネモードを設定する....33
グループの監視条件を設定する....34
機器の状態を通知する....34

機器の設定.....38
操作部からの操作を制限する.....38
セットされている用紙の種類を設定する.....38
スプールジョブを確認/削除する.....39
付属のツールを使う.....40
機器のパスワードを設定する.....40
機器の名前とコメントを変更する.....40
ファクス通信管理レポートを参照する.....41

4. アドレス情報の管理

アドレス一覧の表示.....43
アドレス情報管理ツールを起動する.....43
アドレス情報管理ツールの一覧.....43
一覧表示項目設定.....45
アドレス帳の設定.....47
ユーザーを追加する.....47
ユーザーを削除する.....51
ユーザー情報を変更する.....52
グループを追加する.....52
グループを削除する.....55
グループ情報を変更する.....56
グループにユーザーを追加する.....56
ユーザーやグループを検索する.....57
アドレス帳の情報をファイルに書き出す.....57
アドレス帳のバックアップ/リストア.....60
アドレス帳をバックアップする.....60
アドレス帳をリストアする.....60
機器に対する操作.....62
アドレス情報管理ツールの設定を機器に反映する.....62
機器から情報を取得し直す.....62

5. ユーザー情報の管理

ユーザーごとに印刷枚数を確認する.....63
ユーザー情報管理ツールを起動する.....63
印刷枚数を表示する.....63

印刷枚数の情報をリセットする....64
印刷枚数の情報をファイルに書き出す....65
ユーザー情報の設定....67
ユーザー別利用制限情報を表示する....67
ユーザーを追加する....68
ユーザーを削除する....69
ユーザーを検索する....69
利用可能な機能を設定/変更する....70
ユーザー情報をファイルに書き出す....71
管理者別機能一覧....72
機器に対する操作....75
ユーザー情報管理ツールの設定を機器に反映する....75
機器から情報を取得し直す....75
ユーザーコードの自動登録を設定する....75

6. 付録

CSV ファイルのフォーマット....77
ユーザー別印刷枚数の CSV ファイルフォーマット....77
ユーザー情報の CSV ファイルフォーマット....78
アドレス帳の CSV ファイルフォーマット....79
状態表示アイコンの一覧....86
こんなときには....91
Network Monitor for Admin....91
アドレス情報管理ツール....93
索引....97

この本の読みかた

Network Monitor for Admin の機能をよくご理解いただくため、必ず本書を最後までお読みください。

マークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

重要
誤って操作をすると、OS やプログラムの停止、データ消失などの原因になることがあります。必ずお読みください。

操作の前に
操作をする前に知っておいていただきたいこと、あらかじめ準備していただきたいことなどを説明しています。

制限
数値の制限や組み合わせできない機能、機能が使用できない状態を説明しています。

補足
操作するときに気を付けることや、操作を誤ったときの対処方法などを説明しています。

参照
参照先を示します。

[ ]
画面のメニューやボタンおよびタブの名称を示します。

用語について

本書で使用している用語について解説します。

機器

ネットワーク上のプリンタおよび複合機のことです。本書ではプリンタと複合機に限定して「機器」と表現しています。

ユーザー

機器を使って印刷、スキャンなどを実行する使用者です。

管理者

機器の設定を行う管理者です。機器の機能設定をできる機器管理者と、アドレス帳の管理をするユーザー管理者があります。

Web ブラウザ

本書では Internet Explorer 上で動作するアプリケーション、Web Image Monitor のことです。操作の詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

画面について

本書では、Microsoft® Windows® Vista® Business Service Pack 1 および Internet Explorer 6.0 Service Pack 2 の画面を用いて説明しています。他の Windows をご使用の場合、画面が異なりますが、操作は同じです。

本書の表示について

コンピューター上で本書を表示させるための注意事項は下記のとおりです。

- PDF 形式の使用説明書を表示するためには、Adobe Acrobat Reader/Adobe Reader が必要です。
- HTML 形式の使用説明書はブラウザーでご覧になれます。推奨ブラウザーは以下の通りです。
  - Internet Explorer 6 以降
  - Firefox 3.5 以降
  - Safari 4.0 以降
- 推奨外のブラウザーでは、バージョンの低いブラウザー向けに簡素化した使用説明書が表示されます。
- HTML 形式の使用説明書では、JavaScript が無効になっていると検索や一部のボタンが動作しません。
- 推奨外のブラウザーをお使いの場合で、簡素化した使用説明書が自動的に表示されないときは、アドレスバーの¥int¥index_book.htm を¥unv¥index_book.htm と入力しなおしてください。

おことわり

- 大切な文書やデータは必ずコピーまたはバックアップしてください。お客様が操作をミスしたり本製品に異常が生じた場合、文書やデータが消失することがあります。また、コンピューターウイルス、ワーム、その他の有害なソフトウエア等に対しては、お客様の責任で必ず予防措置を講じてください。
- 動作中に、ディスクの抜き差しをしないでください。
- お客様が本製品を使用して作成した文書やデータに関し、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。
- 本製品の故障による損害、文書やデータの消失による損害、その他本製品の使用により生じた損害について、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。
- 機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の一部、または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。
- 本製品および使用説明書を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。

商標

Microsoft®、Windows®、Windows Server®、Windows Vista®、Excel®、Internet Explorer® は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

Pentium®は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標または登録商標です。

Apple、AppleTalk、Macintosh、Mac OS、および Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。

Firefox®は米国 Mozilla Foundation の登録商標です。

Internet Explorer 6 の製品名は Microsoft Internet Explorer 6 です。

その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

本書の説明および所有者の権利のために使用されます。この使用によって所有者の権利を侵害するものではありません。

この製品には、OpenSSL Toolkit で使用するために OpenSSL Project によって開発されたソフトウェアが含まれています。(http://www.openssl.org/)

Windows のオペレーティングシステム名は以下のとおりです。

- Windows XP の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows® XP Professional
  Microsoft® Windows® XP Home Edition
- Windows Vista の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows Vista® Ultimate
  Microsoft® Windows Vista® Enterprise
  Microsoft® Windows Vista® Business
  Microsoft® Windows Vista® Home Premium
  Microsoft® Windows Vista® Home Basic
- Windows 7 の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows® 7 Home Premium
  Microsoft® Windows® 7 Professional
  Microsoft® Windows® 7 Ultimate
- Windows Server 2003 の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows Server® 2003 Standard Edition
  Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise Edition
- Windows Server 2003 R2 の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Standard Edition
  Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Enterprise Edition

- Windows Server 2008 の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows Server® 2008 Standard
  Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise
  Microsoft® Windows Server® 2008 Datacenter
- Windows Server 2008 R2 の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard
  Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise
  Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Datacenter

1. Network Monitor for Admin とは

Network Monitor for Admin は、ネットワーク上の機器を一元管理するソフトウェアです。機器の設定や状態監視などをコンピューターから実行でき、複数の機器をグループ化して同時に管理できます。管理作業は Network Monitor for Admin と付属のツールで行います。

Network Monitor for Admin でできること

Network Monitor for Admin と各ツールの機能は、次のとおりです。

Network Monitor for Admin の機能

- 機器の状態監視

  印刷中、用紙切れなどの情報をコンピューター上で確認できます。

- 機器のグループ管理

  同時に複数の機器を監視できます。機器の台数が多いときはグループを作り、管理しやすいように機器を分類できます。

- 機器の監視

  機器の状態変化をグループごとに監視し、通知できます。

- 省エネモード

  機器の省エネモードへの切り替え、復帰などをタイマーや手動で設定できます。

- 設定の制限

  機器の操作部からの設定を制限し、一部の項目を変更できないようにします。

- 用紙の設定

  機器にセットされている用紙の種類を設定できます。

- ジョブの確認

  印刷ジョブの結果や、ファクス通信履歴、スプールジョブを確認できます。

アドレス情報管理ツールの機能

- アドレス帳の管理

  機器本体のアドレス帳をツールを使ってリモートで登録、編集できます。

- アドレス帳のバックアップ/リストア

  機器のアドレス帳をバックアップとして保存したり、リストアできます。

- CSV ファイルの書き出し/取り込み

  機器のアドレス帳を CSV ファイルに書き出せます。CSV ファイルを編集し取り込むことで、アドレス帳を一括して登録できます。

ユーザー情報管理ツールの機能

- ユーザー別カウンターの確認

ユーザー名/ユーザーコードごとのプリンタ、ファクス、スキャナー、コピーのカウンター情報を確認できます。

- ユーザーの利用制限

  登録されたユーザーごとに、機能の利用可/不可を管理できます。

- CSV ファイルの書き出し/取り込み

  ユーザー別カウンター一覧と、ユーザーおよび利用制限の情報を CSV ファイルに書き出せます。書き出した CSV ファイルを編集し取り込むことで、ユーザーおよび利用制限の情報を一括して登録できます。

参照

- Network Monitor for Admin の詳細は、P.17「機器の管理」を参照してください。
- アドレス情報管理ツールの詳細は、P.43「アドレス情報の管理」を参照してください。
- ユーザー情報管理ツールの詳細は、P.63「ユーザー情報の管理」を参照してください。

2. Network Monitor for Admin のインストール

動作環境

Network Monitor for Admin を使用するには、次の動作環境が必要です。

重要

- **IPv6 環境では使用できません。**

コンピューター - Network Monitor for Admin

項目	詳細
コンピューター	• CPU：Pentium 500 MHz 以上 • メモリ：200 MB 以上 • ハードディスク空き容量：40 MB 以上
オペレーティングシステム	• Windows XP (X86/X64) Home Edition / Professional SP2 以上 • Windows Vista (X86/X64) Ultimate / Enterprise / Business / Home Premium /Home Basic • Windows 7 (X86/X64) Ultimate / Professional / Home Premium • Windows Server 2003 (X86/X64) Standard Edition / Enterprise Edition SP2 以上 • Windows Server 2003 R2 (X86/X64) Standard Edition / Enterprise Edition SP2 以上 • Windows Server 2008 (X86/X64) Standard / Enterprise / Datacenter • Windows Server 2008 R2 (X64) Standard / Enterprise / Datacenter
ネットワークプロトコル	TCP/IP

使用プロトコル

項目	プロトコル
機器状態情報の取得 トータルカウンター情報の取得 機器の設定	SNMPv1/SNMPv3
アドレス情報の取得・設定 ユーザー別印刷カウント情報の取得・リセット ユーザー別利用制限情報の取得・設定	HTTP

機器との接続

I/F	設定変更/操作	状態監視
イーサネットボード	可	可
無線 LAN	可	可
IP over 1394	不可	可

インストール

Network Monitor for Admin のインストールについて説明します。

重要

- **インストールするコンピューターには、管理者権限でログオンしてください。**
- **起動しているすべてのアプリケーションを終了し、コンピューターが印刷中でないか確認してください。**
- **SA パスワードは控えを取るなどして忘れないようにしてください。アップグレードやアンインストール時に入力する必要があります。**

1. setup.exe をダブルクリックして、インストーラーを起動します。
2. Network Monitor for Admin のセットアップ画面で［次へ］をクリックします。
3. ソフトウェア使用許諾契約書を読んで、同意する場合は［はい］をクリックします。
4. ［ユーザー情報］画面でユーザー（Network Monitor for Admin の使用者）情報を入力して、［次へ］をクリックします。
5. 表示されるメッセージに従って Network Monitor for Admin をインストールします。
6. インストール完了画面で［OK］をクリックします。

補足

- 「Windows の再起動」画面が表示される場合は、Windows を再起動してください。
- デフォルトでインストールを進めると、「C:¥Program Files¥RMAdmin」にインストールされます。C は Windows がインストールされたドライブです。

上書きインストールする

Network Monitor for Admin がインストールされたコンピューターに上書きインストールする方法です。

重要

- **インストールするコンピューターには、管理者権限でログオンしてください。**
- **必ずインストールしたときと同じアカウントでコンピューターにログオンしてください。違うアカウントで上書きインストールすると、正しくインストールされません。**
- **起動しているすべてのアプリケーションを終了し、コンピューターが印刷中でないか確認してください。**

1. setup.exe をダブルクリックして、インストーラーを起動します。
2. Network Monitor for Admin のセットアップ画面で［次へ］をクリックします。
3. ソフトウェア使用許諾契約書を読んで、同意する場合は［はい］をクリックします。

4. ［ユーザー情報］画面でユーザー（Network Monitor for Admin の使用者）情報を入力して、［次へ］をクリックします。
5. 表示されるメッセージに従って Network Monitor for Admin をインストールします。
6. インストール完了画面で［OK］をクリックします。

補足

- 「Windows の再起動」画面が表示される場合は、Windows を再起動してください。

アンインストール

Network Monitor for Admin のアンインストール方法を説明します。アンインストール時に登録情報を残しておくと、再インストール時に設定を引き継ぎます。

重要

- **必ずインストールしたときと同じアカウントでコンピューターにログオンしてください。違うアカウントがアンインストールすると、正しくアンインストールできません。**

1. ［コントロール パネル］を開き、［プログラムと機能］を開きます。
2. ソフトウェアの一覧に表示されている［Network Monitor for Admin］を選択し、［アンインストール］をクリックします。
3. 削除を確認するメッセージが表示されるので、［はい］をクリックします。
4. アンインストール続行の確認画面で［はい］をクリックします。
5. ［完了］をクリックします。

3. 機器の管理

ネットワーク上にある機器の状態を確認したり、グループごとに管理できます。

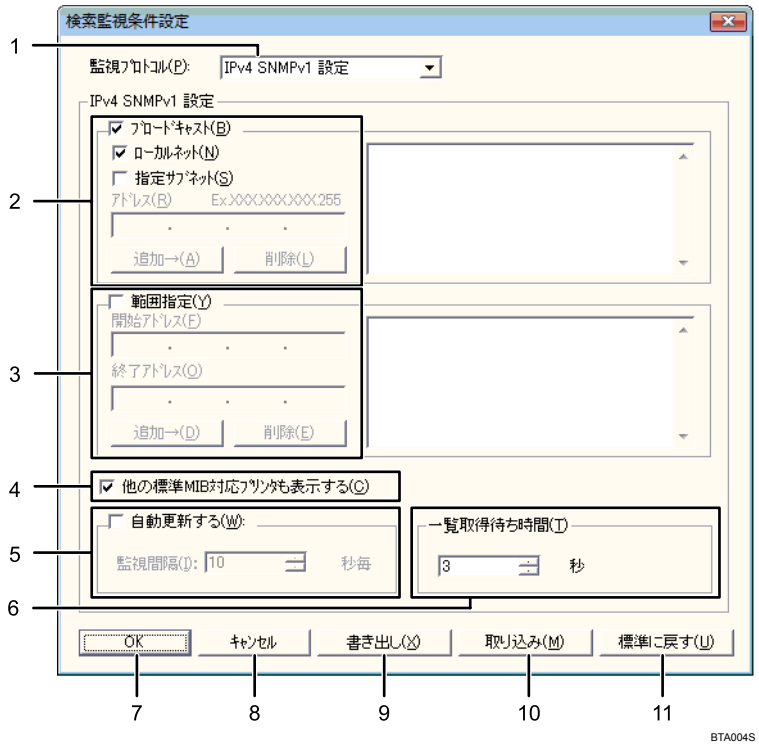
機器の状態表示

機器検索一覧画面やグループ画面で、ネットワークに接続されている機器の情報を表示します。

機器検索一覧画面の検索監視条件を設定する

機器を検索したり、監視する条件をネットワークや IP アドレス単位で設定できます。

1. Network Monitor for Admin を起動します。
2. [機器検索一覧] メニューの [機器検索一覧を開く] をクリックします。
3. [機器検索一覧] メニューの [検索監視条件設定...] をクリックします。
4. [検索監視条件設定] 画面で各項目を設定して、[OK] をクリックします。



	名称	内容
1	監視プロトコル	機器の監視プロトコルを選択します。 選択可能なプロトコルは次のとおりです。 ・IPv4 SNMPv1 ・IPv4 SNMPv3 補足 • IPv4 SNMPv1 を選択したときにコミュニティ名を設定する場合は、SNMP コミュニティ名設定ツールを使用して設定してください。 参照 • SNMP コミュニティ名設定ツールの詳細は、機器のマニュアルを参照してください。
2	ブロードキャスト	チェックを付けると、TCP/IP のブロードキャストで機器を検索できます。 • ローカルネット チェックを付けると、ローカルネットにある機器を検索できます。 • 指定サブネット チェックを付けると、指定したサブネットにある機器を検索できます。 制限 • 登録できる指定サブネットのアドレス数は、最大 255 個です。 • 追加 設定したアドレスを一覧に追加できます。 • 削除 一覧で選択したアドレスを削除できます。

	名称	内容
3	範囲指定	チェックを付けると、開始/終了アドレスで指定した IPv4 アドレスの範囲から、機器を検索できます。 • 開始/終了アドレス 開始/終了アドレスを設定して、指定 IPv4 アドレスの範囲を設定できます。 制限 • 登録できる開始/終了アドレスの数は、最大 255 個です。 • 追加 設定したアドレスを一覧に追加できます。 • 削除 一覧で選択したアドレスを削除できます。
4	他の標準 MIB 対応プリンタも表示する	チェックを付けると、他社の標準 MIB 対応機器を検索できます。 制限 • この機能は、監視プロトコルに IPv4 SNMPv3 を選択した場合、使用できません。
5	自動更新する	チェックを付けると、指定した監視間隔で一覧を自動更新できます。 制限 • 指定できる監視間隔は、5 ～ 600 秒の間です。
6	一覧取得待ち時間	機器検索一覧画面の一覧取得で、タイムアウトと判断されるまでの時間を設定します。 制限 • 設定できる時間は、1 ～ 30 秒の間です。
7	OK	設定内容を反映し、画面を閉じます。
8	キャンセル	設定内容を反映せず、画面を閉じます。
9	書き出し	設定内容を txt ファイル形式で保存できます。保存するフォルダーとファイル名を指定し、[保存] をクリックします。

	名称	内容
10	取り込み	txt ファイル形式で保存された検索条件が取り込まれます。
11	標準に戻す	設定がデフォルトに戻ります。

検索監視条件の設定内容を保存する

検索監視条件の設定内容を書き出して保存できます。設定内容はテキスト形式（.txt）のファイルとして保存されます。

1. Network Monitor for Admin を起動します。
2. [機器検索一覧] メニューの [機器検索一覧を開く] をクリックします。
3. [機器検索一覧] メニューの [検索監視条件設定...] をクリックします。
4. [書き出し] をクリックします。
5. 保存するフォルダーとファイル名を指定し、[保存] をクリックします。

検索監視条件の設定内容を取り込む

書き出した検索監視条件の設定内容を取り込めます。

1. Network Monitor for Admin を起動します。
2. [機器検索一覧] メニューの [機器検索一覧を開く] をクリックします。
3. [機器検索一覧] メニューの [検索監視条件設定...] をクリックします。
4. [検索監視条件設定] 画面で [取り込み] をクリックします。
5. 取り込むファイルを指定し、[開く] をクリックします。

機器を検索する/機器の状態を確認する

機器検索一覧画面を開き、ネットワークに接続されている機器を検索し、現在の情報を表示します。

制限

- 機器検索一覧画面と開いているグループ画面に表示できる台数は、最大 1,000 台です。

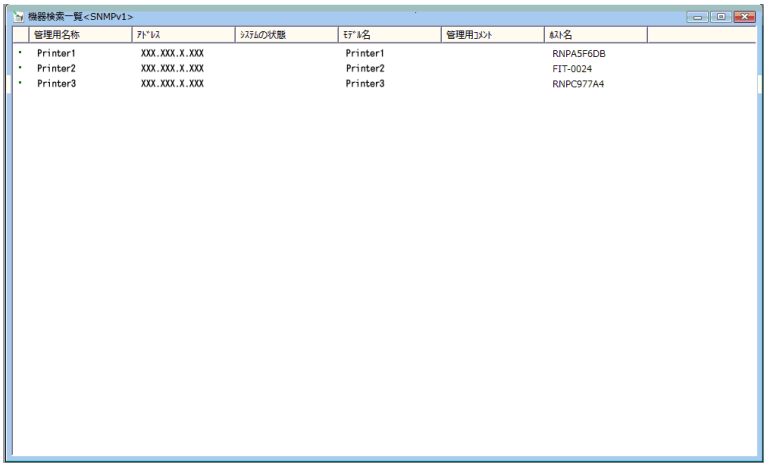
1. Network Monitor for Admin を起動します。
2. [機器検索一覧] メニューの [機器検索一覧を開く] をクリックします。

   機器検索一覧画面に検索結果が表示されます。

補足

- 検索・監視条件の監視プロトコルがデフォルトの場合、IPv4 SNMPv1 で検索されます。
- IPv4 SNMPv3 のプロトコルで検索する場合は、［検索監視条件設定］画面で設定してください。
- IPv4 SNMPv3 のプロトコルを使用している場合、認証情報の入力が必要です。

3. 機器の状態の確認を行います。



補足

- インストール直後は、現在操作しているコンピュータと同一セグメント上の機器を表示するように設定されています。検索監視条件の設定を変更すると、他のネットワーク上の機器も表示できます。

参照

- P.17「機器検索一覧画面の検索監視条件を設定する」

Web ブラウザで機器の状態を確認する

Web Image Monitor を使用して機器の状態を確認したり、機器の設定を変更できます。Web Image Monitor に対応していない機器の場合は、情報画面で確認してください。

制限

- この機能を使用するには Web ブラウザが必要です。また、対象の機器に IPv4 アドレスが設定されている必要があります。

1. 機器検索一覧画面で対象の機器を選択します。

2. [機器] メニューの [Web ブラウザ機器情報] をポイントし、[ホームページ...] をクリックします。

   Web ブラウザが起動し、機器のトップページが表示されます。

補足

- ホームページ以外を選択すると、ログイン画面が表示されます。管理者のユーザー名とパスワードを入力してログインすると、各画面が直接表示されます。

3. 機器の状態の確認や設定をします。

参照

- Web ブラウザからの操作については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

Web ブラウザ機器情報

名称	説明
ホームページ...	トップページが表示されます。
カウンターページ...	カウンターページが表示されます。
ジョブページ...	プリンタジョブ履歴ページが表示されます。 ジョブの確認/操作ができます。
設定ページ...	設定ページが表示されます。 機器設定の確認/操作ができます。
システムページ...	システムページが表示されます。
用紙ページ...	用紙ページが表示されます。
ファクス通信管理レポート...	ファクス通信管理レポートページが表示されます。
スプール印刷ジョブ一覧...	スプール印刷ジョブ一覧ページが表示されます。

情報画面で機器の状態を表示する

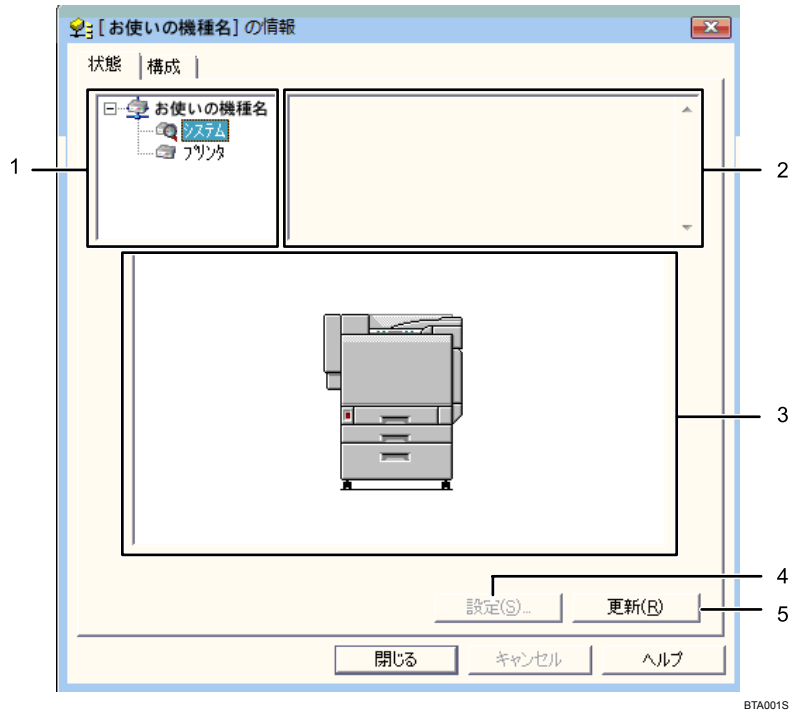
機器の詳しい状態を別画面で個別に表示します。Web Image Monitor に対応していない機器は、情報画面で状態を表示します。

1. 機器検索一覧画面で状態を表示する機器を選択し、ダブルクリックします。
2. 機器の情報画面で、状態を表示するタブや項目をクリックします。

   機器の状態が表示されます。

状態タブ

機器の状態を確認したり、機器を監視するための設定をします。

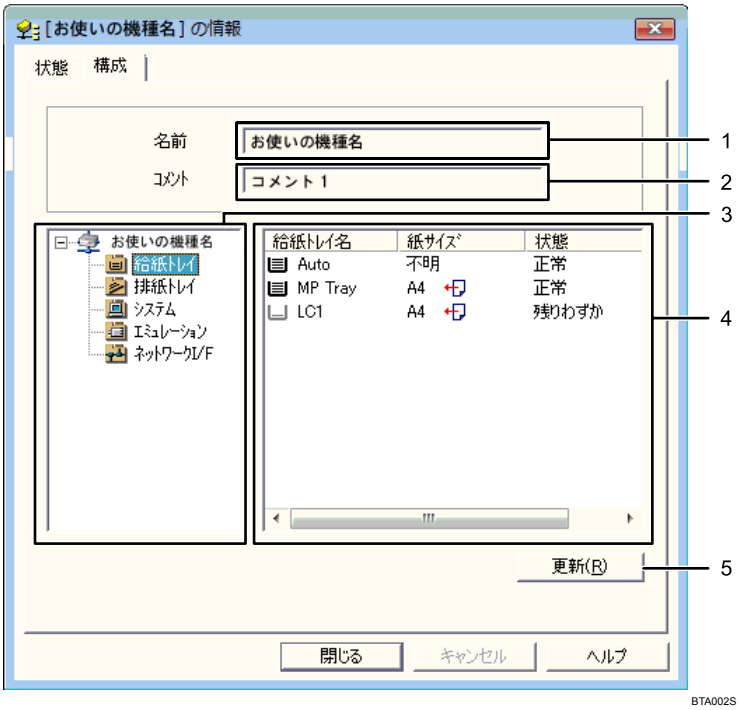


	名称	説明
1	機能ツリー	機器に搭載されている機能（システム、プリンタ）がツリー方式で表示されます。 それぞれの項目をクリックして反転表示させると、右側に詳細情報が表示されます。 項目が隠れたときは、[+] の部分をクリックするか、アイコンをダブルクリックすると、再び表示されます。
2	状態/エラー表示	機能ツリーで選択している機能の状態やエラーの詳細が表示されます。
3	機器の状態	機器の状態が表示されます。

	名称	説明
4	設定	機器を監視する間隔を設定します。 次の場合、ボタンが半輝度表示になり、設定できません。 • 機器検索一覧画面 • Hosts 画面 • IP アドレスの直接指定
5	更新	表示されている情報が最新の内容に更新されます。

構成タブ

機器の詳細情報が表示されます。



	名称	説明
1	名前	機器の名前が表示されます。 補足 • ネットワーク上で検出された機器はイーサネットボードに設定された名前が表示されます。 • グループ登録された機器は、管理者が設定した名前が表示されます。
2	コメント	機器に設定されているコメントが表示されます。 補足 • ネットワーク上で検出された機器はイーサネットボードに設定されたコメントが表示されます。 • グループ登録された機器は、管理者が設定したコメントが表示されます。
3	構成情報ツリー	機器の構成がツリー方式で表示されます。 項目が隠れたときは、[+]の部分をクリックするか、アイコンをダブルクリックすると、再び表示されます。 参照 • 詳細は、「構成情報詳細」を参照してください。
4	詳細	構成情報ツリーで指定した項目に対応した詳細情報が表示されます。
5	更新	表示されている情報が最新の内容に更新されます。

構成情報詳細

ツリーで指定した項目	表示される内容
給紙トレイ	それぞれの給紙トレイの状態と、セットされている用紙のサイズと方向が表示されます。機器によっては用紙の種類なども表示されます。
排紙トレイ	排紙トレイの状態が表示されます。
トナー/インク	トナーやインクの残量が表示されます。 トナーやインクの残量が不明の場合は、「検知不可」と表示されます。
機能	機器で使用できる機能が表示されます。

ツリーで指定した項目	表示される内容
オプション	機器に搭載されているオプションが表示されます。
システム	システムの情報が表示されます。 • モデル名：機器のモデル名です。 • バージョン：機器のシステムプログラムのバージョンです。 • トータルメモリ：搭載しているメモリの容量です。 • トータルカウンタ：総印刷枚数です。
ドキュメントボックス	ドキュメントボックスの容量と残量を表示します。
エミュレーション	搭載しているエミュレーションの情報が表示されます。 • エミュレーション名：搭載しているすべてのエミュレーションの名前です。 • バージョン：エミュレーションのバージョンです。
ネットワーク I/F	イーサネットボードの情報が表示されます。 • 名前（機器側）：イーサネットボードに設定されている名前です。 • コメント（機器側）：イーサネットボードに設定されているコメントです。 • IPv4 アドレス：イーサネットボードに設定されている IP アドレスです。 • サブネットマスク：イーサネットボードに設定されているサブネットマスクです。 • ハードウェアタイプ：イーサネットボードのハードウェアタイプです。 • ファームウェアバージョン：イーサネットボードのソフトウェアのバージョンです。 • ノードアドレス：MAC アドレス（Media Access Control Address）です。 制限 • 機器によっては表示されない項目もあります。

機器のグループ管理

ネットワーク上の機器を登録し、グループ単位で管理できます。設置場所や使用者などでグループ分けすることで、機器に合わせた監視と設定ができます。

グループを作成する

設置場所や使用頻度で機器を分類してグループを作成できます。

制限

- 作成できるグループは、最大 100 グループです。
- 1 つのグループに登録できる機器は、最大 200 台です。
- 登録できる機器は、全グループ合わせて最大 1,000 台です。
- 監視できる機器は、表示している全グループ合わせて最大 1,000 台です。

1. ［グループ］メニューの［グループを管理...］をクリックします。
2. ［グループを管理］画面で［新規作成］をクリックします。
3. ［新規作成］画面で作成するグループの名前を入力し、［OK］をクリックします。
   作成したグループ画面が表示されます。

   制限

   - 使用できるグループ名の最大文字数は、47 文字です。
   - 次の半角文字は使用できません。
     “#*,/:;<=>?[¥]|

グループに機器を追加する

作成したグループに機器を追加します。1 台の機器を複数のグループに追加したり、機器検索一覧画面に表示されない機器を追加することもできます。

制限

- 機器検索一覧画面と Hosts 画面には機器を追加できません。Hosts 画面の詳細は、P.31「グループ情報を Hosts ファイルとして保存する」を参照してください。

1. ［グループ］メニューの［グループを開く...］をクリックします。
2. グループ一覧で対象グループを選択して、［OK］をクリックします。
3. ［グループ］メニューの［アドレス指定で機器を追加］をクリックします。

4. [アドレス指定で機器を追加] 画面で、追加する機器の IP アドレスまたはホスト名、管理用名称、管理用コメントを入力し、プロトコルを選択します。

補足

- 追加する機器は、IP アドレスの代わりにホスト名を入力しても指定できます。
- IP アドレスを入力して、[取得] ボタンをクリックすると、入力した IP アドレスの機器から管理用名称と管理用コメントを取得できます。

5. [OK] をクリックします。

グループ間で機器をコピー/移動する

簡単な操作でグループ間の機器の移動や、コピーができます。

制限

- 機器検索一覧画面と Hosts 画面には機器を追加できません。また、これらのグループからは機器のコピーだけができます（移動はできません）。Hosts 画面の詳細は、P.31 「グループ情報を Hosts ファイルとして保存する」を参照してください。

1. コピー/移動する機器が登録されているグループと、コピー先のグループを開きます。
2. コピー/移動する機器を選択します。

補足

- 複数の機器を選択するには、SHIFT キー、または CTRL キーを押しながらクリックします。

3. コピーするときは選択した機器をコピー先のグループにドラッグします。移動するときは、SHIFT キーを押しながら選択した機器を移動先のグループにドラッグします。

グループを開く

1. [グループ] メニューの [グループを開く...] をクリックします。
2. グループ一覧からグループを選択し、[OK] をクリックします。

   グループ画面が表示されます。

補足

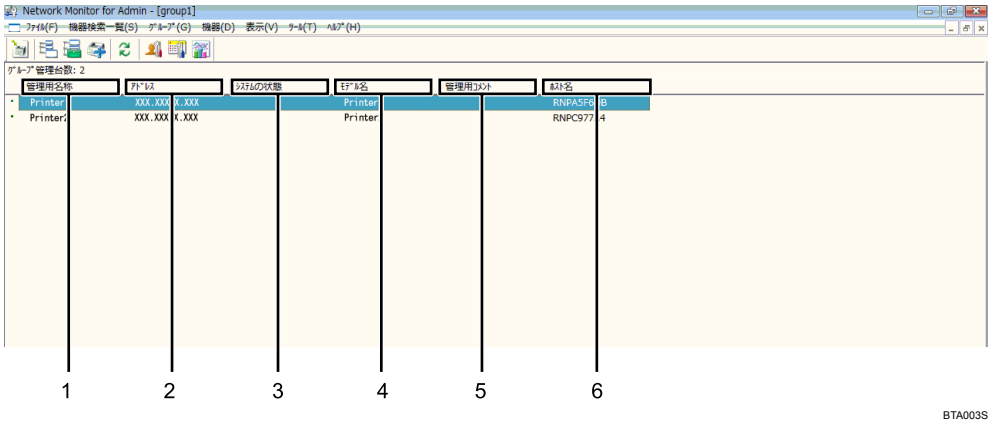
- 複数のグループを選択するには、SHIFT キー、または CTRL キーを押しながらクリックします。

グループ画面

機器検索一覧画面またはグループ画面には次の項目を表示できます。

補足

- 表示する項目が多く画面に表示しきれないときは、項目の境界をドラッグして調整してください。
- 行の先頭に緑の丸印が付いている機器は、表示されていない機器よりも詳細な情報を得られます。



標準で表示されている項目

	項目	説明
1	管理用名称	機器に設定されている名称が表示されます。 補足 • 機器検索一覧画面の場合は、機器のイーサネットボードに設定されている名前です。 • Hosts 画面の場合は、Hosts ファイルに設定されている名前です。Hosts 画面の詳細は、P.31「グループ情報を Hosts ファイルとして保存する」を参照してください。 • その他のグループの場合は、Network Monitor for Admin で設定した名前が表示されます。
2	アドレス	機器の IP アドレスまたはホスト名です。
3	システムの状態	機器の状態アイコンと説明が表示されます。 参照 • アイコンの詳細は、P.86「状態表示アイコンの一覧」を参照してください。
4	モデル名	機器のモデル名です。

	項目	説明
5	管理用コメント	機器に設定されているコメントが表示されます。 補足 • 機器検索一覧画面の場合は、機器のイーサネットボードに設定されているコメントです。 • Hosts 画面の場合は Hosts ファイルに設定されているコメントです。Hosts 画面の詳細は、P.31「グループ情報を Hosts ファイルとして保存する」を参照してください。 • その他のグループの場合は、Network Monitor for Admin で設定したコメントが表示されます。
6	ホスト名	機器から取得したホスト名を表示します。

追加して表示できる項目

項目	説明
SNMPv3	SNMPv3 でアクセスされているかどうかを表示します。
プリンタの状態*1	プリンタ機能の現在の状態が表示されます。
スキャナーの状態*1	スキャナー機能の現在の状態が表示されます。
ファクスの状態*1	ファクス機能の現在の状態が表示されます。
コピーの状態*1	コピー機能の現在の状態が表示されます。
トータルカウンター	プリンタ機能で印刷した総枚数が表示されます。 制限 • 機器によっては表示されません。また、プリンタ機能が搭載されていない場合は、空欄です。
最終取得日時	機器から最後に情報を取得した日時が表示されます。

*1 機能が搭載されていない場合は、空欄です。

表示する項目と並び順を変更する

1. 機器検索一覧画面または、対象グループを開きます。
2. ［表示］メニューの［一覧表示項目設定...］をクリックします。

3. ［一覧表示項目設定...］画面の［非表示項目］から表示させたい項目を選択し、［追加］をクリックします。

   選択した項目が［表示項目］に移動します。

   補足

   - ［表示項目］ボックスの項目を選択して［追加］をクリックすると、選択した項目の上に追加されます。
   - 表示順を変更するには、［表示項目］ボックス内の項目を選択して、［上へ］または［下へ］をクリックします。上の項目から順に画面の左から表示されます。

4. 表示させたい項目をすべて移動させ、［OK］をクリックします。

   一覧に機器の状態がアイコンで表示されます。

グループを削除する

1. ［グループ］メニューの［グループを管理...］をクリックします。
2. ［グループ一覧］から削除するグループを選択し、［削除］をクリックします。

   補足

   - 選択したグループを右クリックして、［削除］をクリックしても削除できます。

3. 確認画面で、［はい］をクリックします。

グループから機器を削除する

1. 対象グループを開きます。
2. 削除する機器を選択します。
3. ［機器］メニューの［削除］をクリックします。
4. 確認画面で、［はい］をクリックします。

グループ情報を Hosts ファイルとして保存する

グループに登録されている機器の名前またはホスト名・IP アドレス・コメントを Hosts ファイル形式のファイルとして保存できます。保存した Hosts ファイルを使って、別のコンピューターで設定したグループ情報を取り込み、そこからグループに機器をコピーするために使います。

1. 機器検索一覧画面または、対象グループを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［Hosts ファイルとして保存］をクリックします。

3. [Hosts ファイル形式で保存] 画面で、保存するフォルダーとファイル名を指定し、[保存] をクリックします。

補足

- SNMPv1 と SNMPv3 は区別せずに保存されます。
- Hosts ファイルは「アドレス」「機器名またはホスト名」「コメント」をスペースまたはタブで区切り、1 行で入力されています。コメントの先頭には半角の#が入力されています。

入力例	説明
192.168.15.16printer1#5FNSide	TCP/IP で IPv4 アドレスを使用して機器を指定する場合の例です。
prn01.aaa.bbb.co.jpprinter2#18FSSide	TCP/IP でホスト名を使用して機器を指定する場合の例です。

制限

- 名前が半角スペースで区切られている場合、最初のスペースまでが名前として読み込まれます。
- 名前の最大文字数は、半角英数で 47 文字です。
- コメントの最大文字数は、半角英数で 31 文字です。
- 名前に使われた次の文字はアンダーライン（ _ ）に置き換えられます。
  "#*,/:;<=>?[¥]|（すべて半角文字）
- コメントに使われた次の文字はアンダーライン（ _ ）に置き換えられます。
  ,;=[¥]（すべて半角文字）
- 名前とコメントの前後にある半角スペースは削除されます。
- Hosts ファイル保存時は名前に使われた半角スペースがアンダーライン（ _ ）に置き換えられます。

Hosts ファイルをグループとして開く

Hosts ファイルを読み込むことで、グループに設定した内容を取り込めます。

制限

- グループに読み込めない文字はアンダーライン（ _ ）に置き換えられます。詳細は、P.31「グループ情報を Hosts ファイルとして保存する」を参照してください。

1. [ファイル] メニューの [Hosts ファイルを開く] をクリックします。
2. [Hosts ファイルを開く] 画面でファイルを指定し、[開く] をクリックします。

トータルカウンターの情報を出力する

状態を監視している機器のコピー、プリンタなど、機器で印刷した総枚数を CSV ファイル形式で出力します。

制限

- この機能に対応していない機器もあります。

1. 機器検索一覧画面または、対象グループを開きます。
2. [ファイル] メニューの [トータルカウンター出力...] をクリックします。
3. [名前を付けて保存] 画面で保存するフォルダーとファイル名を指定し、[保存] をクリックします。

   補足

   - デフォルトのファイル名は「YYYYMMDDhhmmss_グループ名_T.csv」です（YYYY：西暦年、MM：月、DD：日、hh：時、mm：分、ss：秒）。

省エネモードを設定する

グループ単位や機器単位で、機器を省エネモードに移行したり、省エネモードを解除できます。また、グループ単位の場合は、あらかじめ時刻を設定しておき、自動的に切り替えることもできます（タイマー設定）。

制限

- この機能に対応していない機器もあります。

省エネモードの移行/解除

1. 機器検索一覧画面または、対象グループを開きます。

   補足

   - 機器を選択すると、選択した機器の設定だけを変更できます。

2. 省エネモードに移行するには [機器] メニューの [省エネモードに移行] をポイントし、[ウィンドウ内機器全体] または [選択機器のみ] をクリックします。
   省エネモードを解除するには [機器] メニューの [省エネモードを解除] をポイントし、[ウィンドウ内機器全体] または [選択機器のみ] をクリックします。

グループ単位でタイマーを設定する

制限

- 指定した時刻には Network Monitor for Admin が起動しており、対象グループが開いている状態にしてください。
- タイマーで指定した時刻に対象グループ画面が閉じていると、タイマーによる省エネモードの設定は実行されません。

1. 機器検索一覧画面または、対象グループを開きます。
2. [機器] メニューの [省エネモードタイマー設定] をクリックします。
3. [省エネモード自動移行時刻] と [省エネモード自動解除時刻] にチェックを付け、移行時刻と解除時刻を設定します。
4. [OK] をクリックします。

グループの監視条件を設定する

所属している機器の監視条件をグループごとに設定できます。

1. 対象グループを開きます。
2. [グループ] メニューの [監視条件設定] をクリックします。
3. [自動更新する] にチェックを付け、監視間隔を設定します。
4. [OK] をクリックします。

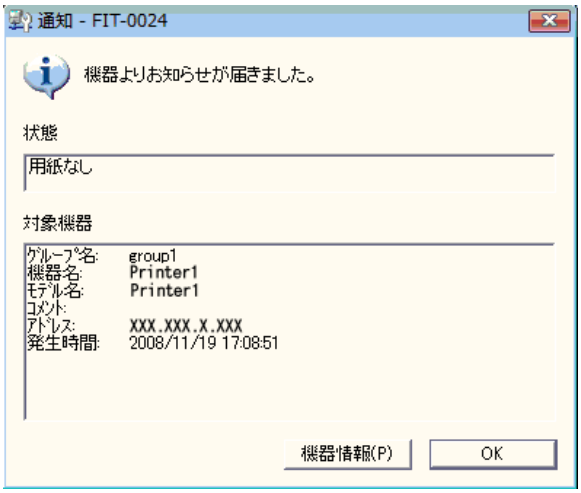
機器の状態を通知する

グループ内の機器を監視し、機器にトナー切れや用紙切れなどが起きた場合に、機器の状態を通知するメッセージを表示できます。通知するグループ、サウンドおよび次の通知項目を設定できます。

- サービスコール
- トナー/インクなし
- 用紙づまり
- 用紙なし
- カバーオープン
- その他のエラー
- オフライン
- トナー/インク残りわずか
- 注意

- 応答なし

ポップアップメッセージの例



制限

- 機器検索一覧画面、Hosts 画面からは通知できません。
- この機能に対応していない機器もあります。

補足

- 状態を通知するには、Network Monitor for Admin が起動しており、対象のグループが開いている必要があります。
- 状態の通知は、対象のグループの画面で機器の状態表示を更新したときに行われます。自動的に通知するには、対象にするグループの検索・監視条件の設定で、状態表示を自動更新するように設定してください。
- 通知する項目（トナー/インクなし、用紙なし、など）はグループ単位で指定します。

機器の状態を通知するグループと通知項目を指定する

1. 対象グループを開きます。
2. ［グループ］メニューの［通知設定...］をクリックします。

   制限

   - Hosts 画面からは設定できません。
3. ［通知設定］画面で、通知するグループを選択します。

   補足

   - 複数のグループを選択するには、SHIFT キーまたは CTRL キーを押しながらクリックします。

4. [通知項目指定] をクリックします。
5. [通知する] にチェックを付けます。
6. 通知する項目にチェックを付けます。

補足

- 手順 3 で複数のグループを選択した場合で、選択したグループの一部に対して既に指定済みの項目があるときは、その項目のチェックボックスがグレー表示されます。
- グレー表示の項目を、手順 3 で選択したすべてのグループに対する通知項目とするには、項目をクリックして白のチェックボックスに戻し、もう一度クリックしてチェックを付けます。

7. [OK] をクリックします。
8. [通知設定] 画面で、[通知画面表示設定] をクリックします。
9. 通知画面の表示方法を選択し、[OK] をクリックします。
10. [OK] をクリックします。

参照

- P.27「グループを作成する」
- P.34「グループの監視条件を設定する」

機器の状態通知時のサウンドを設定する

Network Monitor for Admin で監視している機器にトナー切れや用紙切れなどが起きた場合に、ポップアップメッセージで通知し、設定されているサウンドを再生できます。

操作の前に

- あらかじめ機器の状態通知を設定してください。

1. 対象グループを開きます。
2. [グループ] メニューの [通知設定...] をクリックします。
3. [通知設定] 画面で [状態通知時のサウンド設定] をクリックします。
4. [サウンド設定] 画面でサウンドを設定する項目にチェックを付け、サウンドを選択します。

補足

- 最大 3 種類のサウンドを設定できます。
- Wave 形式のファイルを設定する場合は、[参照] をクリックしてファイルを指定します。Wave ファイルはデフォルトでは Network Monitor for Admin に含まれていませんので、準備してください。
- [再生] をクリックするとサウンドを確認できます。

- 各項目にサウンド 1 から 3 のどれを適用するのかを選択します。通知時にサウンドを再生したくない場合は、「なし」が設定されている番号を選択します。
- 複数のエラーが発生した場合は、上からの並び順で一番優先順位の高いものが通知されます。通知されたエラーが解除された後、他のエラーが残っていても、通知されません。

5. [OK] をクリックします。

機器の設定

ネットワーク上の機器の設定を変更できます。

操作部からの操作を制限する

機器側の操作部からの操作を制限できます。設定された制限レベルは機器の制限レベルと同じになります。

制限

- この機能に対応していない機器もあります。
- この設定には Web ブラウザが必要です。また、設定する機器に IPv4 アドレスが設定されている必要があります。

1. 機器検索一覧画面または、設定を変更する機器が所属しているグループを開きます。
2. 一覧からプリンタ操作部のメニューをロックする機器を選択します。
3. [機器] メニューの [Web ブラウザ機器情報] をポイントし、[システムページ...] をクリックします。

   Web ブラウザが起動して、Web Image Monitor のログイン画面が表示されます。
4. 機器のログインユーザー名とログインパスワードを入力して [ログイン] をクリックします。

   Web Image Monitor にシステムページが表示されます。
5. [基本設定] の [機器側プリンタ操作部のメニュープロテクト] で [レベル 1]、または [レベル 2] を選択します。
6. [適用] をクリックします。
7. [ログアウト] をクリックします。

参照

- 詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

セットされている用紙の種類を設定する

機器にセットされている用紙種類を設定する方法を説明します。

制限

- この機能に対応していない機器もあります。
- この設定には Web ブラウザが必要です。また、設定する機器に IPv4 アドレスが設定されている必要があります。

1. 機器検索一覧画面または、対象機器が所属しているグループを開きます。
2. 一覧から用紙種類を設定する機器を選択します。
3. [機器] メニューの [Web ブラウザ機器情報] をポイントし、[用紙ページ...] をクリックします。

   Web ブラウザが起動して、Web Image Monitor のログイン画面が表示されます。
4. 機器のログインユーザー名とログインパスワードを入力して [ログイン] をクリックします。

   Web Image Monitor に用紙ページが表示されます。
5. 設定を変更します。
6. [ログアウト] をクリックします。

参照

- 設定項目の詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

スプールジョブを確認/削除する

機器にスプールされている印刷ジョブを表示し、内容を確認したり、削除する方法を説明します。

制限

- この機能に対応していない機器もあります。
- この設定には Web ブラウザが必要です。また、設定する機器に IPv4 アドレスが設定されている必要があります。

1. 機器検索一覧画面または、対象機器が所属しているグループを開きます。
2. 一覧からスプール印刷ジョブを確認する機器を選択します。
3. [機器] メニューの [Web ブラウザ機器情報] をポイントし、[スプール印刷ジョブ一覧...] をクリックします。

   Web ブラウザが起動して、Web Image Monitor のログイン画面が表示されます。
4. 機器のログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。

   Web Image Monitor にスプール印刷ジョブ一覧が表示されます。
5. スプール印刷ジョブを削除します。
6. 確認が終了したら [ログアウト] をクリックします。

参照

- 詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

付属のツールを使う

［ツール］メニューに含まれているツールを使用すると、コンピューターから機器の設定を変更したり、機器に登録されている情報を管理できます。

ツールメニューで選択できるツールは次のとおりです。

- ユーザー情報管理ツール
- アドレス情報管理ツール

補足

- 各ツールの起動時に、パスワードの入力が必要になるものもあります。

1. 機器検索一覧画面、またはグループを開き、対象の機器を選択します。
2. ［ツール］メニューから使用するツールの名前をクリックします。
3. 必要に応じてログインユーザー名とログインパスワードを入力してください。

補足

- 機器によっては、ツールで設定されているパスワードを入力し、［OK］をクリックします。ログインユーザー名の入力は必要ありません。

参照

- ツールを起動できないときは、P.91「こんなときには」を参照してください。

機器のパスワードを設定する

1. 機器検索一覧画面、または対象機器が所属しているグループを開きます。
2. 一覧からパスワードを変更する機器を選択します。
3. ［機器］メニューの［Web ブラウザ機器情報］をポイントし、［設定ページ...］をクリックします。

   Web ブラウザが起動して、Web Image Monitor のログイン画面が表示されます。
4. 機器のログインユーザー名とログインパスワードを入力し、［ログイン］をクリックします。

   Web Image Monitor に設定ページが表示されます。
5. ［機器］の［管理者登録/変更］をクリックし、設定を変更します。
6. ［OK］をクリックします。

機器の名前とコメントを変更する

ネットワーク上の機器の名称と、コメントを変更できます。

1. 機器検索一覧画面、または対象機器が所属しているグループを開きます。
2. 一覧から機器の名前とコメントを変更する機器を選択します。
3. [機器] メニューの [Web ブラウザ機器情報] をポイントし、[設定ページ...] をクリックします。

   Web ブラウザが起動して、Web Image Monitor のログイン画面が表示されます。
4. 機器のログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。

   Web Image Monitor に設定ページが表示されます。
5. [機器] の [システム] をクリックし、設定を変更します。
6. [OK] をクリックします。

参照

- 詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

ファクス通信管理レポートを参照する

ファクス通信の結果を機器から取得し、Web 上で閲覧したり、印刷または保存できます。

制限

- この機能に対応していない機器もあります。

補足

- Web Image Monitor を使って、取得した情報を CSV ファイルとして保存できます。

1. 機器検索一覧画面、または対象機器が所属しているグループを開きます。
2. 一覧からファクス通信管理レポートを取得する機器を選択します。
3. [機器] メニューの [Web ブラウザ機器情報] をポイントし、[ファクス通信管理レポート...] をクリックします。

   Web ブラウザが起動して、Web Image Monitor のログイン画面が表示されます。
4. 機器のログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。

   Web Image Monitor にファクス通信管理レポートの送信一覧が表示されます。

   履歴の確認や送信一覧のダウンロードが可能です。
5. [ログアウト] をクリックします。

参照

- 詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

4. アドレス情報の管理

アドレス情報管理ツールを使用して、機器に登録されているアドレス情報（ファクス番号やメールアドレスなど）を閲覧、管理できます。

アドレス一覧の表示

アドレス情報管理ツールを起動する

1. 機器検索一覧画面、または対象機器が所属するグループを開きます。
2. 一覧からアドレス情報を管理する機器をクリックして選択します。
3. ［ツール］メニューの［アドレス情報管理ツール］をクリックします。

   ［認証情報入力］画面が表示されます。
4. 機器のログインユーザー名とログインパスワードを入力して［OK］をクリックします。

   アドレス情報管理ツールが起動します。

補足

- 機器によっては、認証方式が異なる場合があります。
- このツールに対応していない機器もあります。

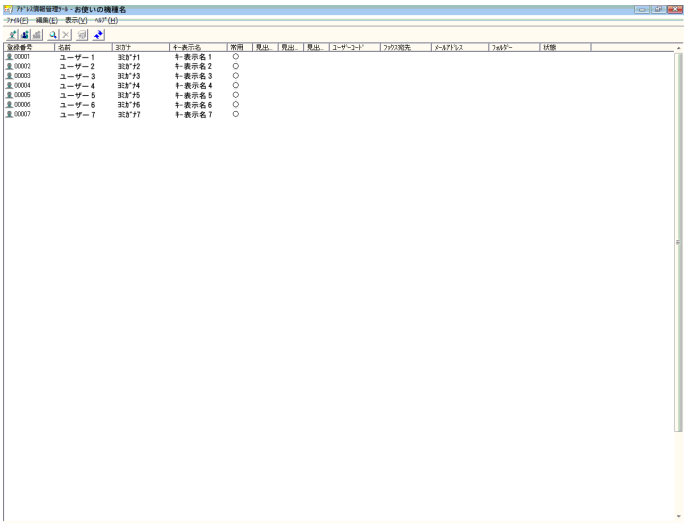
アドレス情報管理ツールの一覧

機器に保存されているアドレス帳の内容が表示されます。

補足

- 機器や認証方式によっては、表示が異なる、または表示されません。

表示される項目は次のとおりです。



項目	内容
登録番号	アドレス帳への登録時に付けたユーザーまたはグループ固有の番号です。機器側で設定されたファクスの中継グループには、アイコン（）が表示され設定内容を変更できません。 補足 • アドレス情報管理ツールを使用して登録番号を変更したときは、変更を機器に反映するかどうか確認するメッセージが表示されます。アドレス情報管理ツールと機器側との不一致によるエラーを避けるため、このメッセージで［はい］をクリックしてください。
名前	ユーザーまたはグループの名前です。
ヨミガナ	ユーザーまたはグループの名前の読み仮名です。
キー表示名	機器の操作パネルに表示される名前です。
常用	常用見出しに登録されているかどうかが表示されます。
見出し 1	見出し 1 を使用する場合にどの見出しに所属するかが表示されます。
見出し 2	見出し 2 を使用する場合にどの見出しに所属するかが表示されます。
見出し 3	見出し 3 を使用する場合にどの見出しに所属するかが表示されます。

項目	内容
ユーザーコード	ユーザーに設定されているユーザーコードです。ユーザーコードが設定されていない場合やグループの場合は表示されません。 補足 • 認証方式によっては表示が異なる、または表示されません。
ファクス宛先	ユーザーのファクス番号、または IP ファクスの宛先（アドレス）です。グループの場合は表示されません。
メールアドレス	ユーザーのメールアドレスです。グループの場合は表示されません。
フォルダー	フォルダー送信機能で読み取られた画像データが配信されるフォルダーの名前です。
状態	機器から取得した情報に対してアドレス情報管理ツールで何か操作した場合、その操作結果が表示されます。操作結果を有効にするには、アドレス情報管理ツールの設定を機器に反映してください。

参照

- P.62「アドレス情報管理ツールの設定を機器に反映する」
- P.57「ユーザーやグループを検索する」

一覧表示項目設定

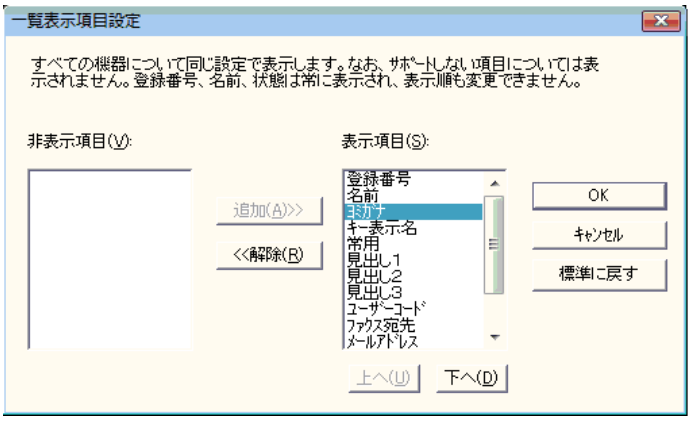
アドレス情報管理ツールの一覧に表示する項目と表示順を設定できます。

1. アドレス情報管理ツールを起動します。
2. ［表示］メニューの［一覧表示項目設定］をクリックします。
3. ［一覧表示項目設定］画面で、非表示項目から表示する項目を選択し、［追加］をクリックします。また、表示項目から非表示にする項目を選択し、［解除］をクリックします。

   選択した項目が［非表示項目］または［表示項目］に移動します。
4. 表示する項目をすべて移動したら［OK］をクリックします。

   一覧に設定した項目が表示されます。

［一覧表示項目設定］画面で表示される項目は次のとおりです。



4

制限

- 「登録番号」、「名前」、「状態」の表示順は変更できません。

項目	内容
非表示項目	アドレス情報管理ツールの一覧に表示されない項目です。
追加	クリックすると、[非表示項目] で選択されている項目を [表示項目] に追加できます。
解除	クリックすると、[表示項目] で選択されている項目を削除できます。 制限 • 「登録番号」、「名前」、「状態」は非表示項目にできません。
表示項目	アドレス情報管理ツールの一覧に表示される項目です。
標準に戻す	この画面の設定内容をすべて標準の値に戻します。
上へ	クリックすると、[表示項目] ボックスで選択されている項目を上に移動します。上の項目から順に画面の左から表示されます。
下へ	クリックすると、[表示項目] ボックスで選択されている項目を下に移動します。上の項目から順に画面の左から表示されます。

アドレス帳の設定

新しくユーザーやグループを作成し、機器のアドレス帳への設定や、設定した内容の変更/削除ができます。

ユーザーを追加する

新しくユーザーを作成し、機器のアドレス帳に登録します。

1. アドレス情報管理ツールを起動します。
2. ［編集］メニューの［ユーザー追加］をクリックします。
3. ［ユーザーのプロパティ］画面で必要な情報を入力します。

   参照

   - 設定する項目は、P.47「ユーザーのプロパティ」を参照してください。
4. ［OK］をクリックします。

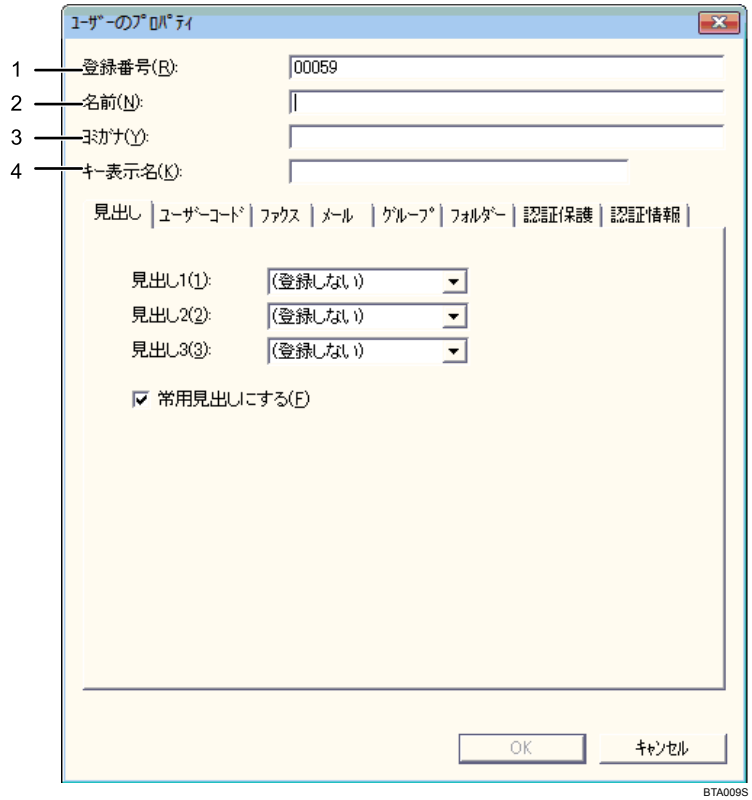
   ユーザーが追加され、アイコンが表示されます。
5. ［編集］メニューの［設定内容の送信］をクリックし、変更した情報を機器に反映します。

ユーザーのプロパティ

ユーザーのプロパティで表示される項目は次のとおりです。

制限

- 機器や認証方式によっては、表示が異なる、または表示されません。



	項目	説明
1	登録番号	機器のオペレーションパネルでユーザーを選択するときに使用する番号を設定します。 ユーザーを新規追加する場合、機器から自動的に採番されます。
2	名前	ユーザー名を設定します。
3	ヨミガナ	検索時に使用する名前の読み仮名を設定します。
4	キー表示名	機器の操作パネルに表示される名前を設定します。

各タブで表示される項目は次のとおりです。

見出し

項目	説明
見出し 1	見出し語をあ段（あ～わ）から設定します。
見出し 2	見出し語をアルファベット（A ～ Z）から設定します。

項目	説明
見出し 3	見出し語を 1 ～ 5 から設定します。
常用見出しにする	チェックを付けると常用見出しに設定されます。

制限

- 見出し語は、必ず 1 つ以上登録してください。

ユーザーコード

項目	説明
ユーザーコード	アカウントに割り当てるユーザーコードを設定します。

ファクス

項目	説明
ファクス宛先	ファクス番号または IP-ファクスアドレスを設定します。 拡張宛先は連結して入力できます。
回線種別	使用する回線種別を設定します。
海外送信モードに設定する	チェックを付けると、海外送信モードに設定されます。
プロトコル	IP-ファクスのプロトコルを設定します。
IP-ファクス宛先	IP-ファクスの宛先を設定します。
オプション	ファクスオプション設定画面が表示されます。 [発信元名称] と [宛名差し込み] の設定をして、[OK] をクリックすると設定が反映されます。

メール

項目	説明
メールアドレス	メールアドレスを設定します。
SMTP サーバーを経由	IP-ファクス送信時に、SMTP サーバーを経由するかどうかを設定します。
その他オプション	ファクスオプション設定画面が表示されます。 [発信元名称] と [宛名差し込み] の設定をして、[OK] をクリックすると設定が反映されます。

グループ

項目	説明
登録番号	グループの登録番号が表示されます。
名前	グループ名が表示されます。
キー表示名	グループのキー表示名が表示されます。
追加	グループに追加画面が表示されます。 追加する場合は、グループを選択して［OK］をクリックすると反映されます。
削除	グループを選択してクリックすると、削除されます。

フォルダー

項目	説明
プロトコル	使用するプロトコルを設定します。
ポート番号	FTP を使用する場合、ポート番号を設定します。
サーバー名	FTP を使用する場合、サーバー名を設定します。
パス名	パス名を設定します。 FTP を使用する場合、［参照］は使用できません。
日本語文字コード	FTP を使用する場合、使用する日本語文字コードを設定します。
接続種別	NCP を使用する場合、接続種別を選択します。

認証保護

項目	説明
使用対象	• ［宛先］ 宛先として使用されます。 • ［送信者］ 送信者として使用されます。

項目	説明
保護対象	• [送信者を保護する] メールの送信者が保護されます。 • [フォルダー宛先を保護する] フォルダー宛先が保護されます。
宛先保護コード	[変更] をクリックすると宛先保護コード設定画面が表示されます。宛先保護コードを入力して [OK] をクリックすると、設定が反映されます。
宛先保護：アクセス許可ユーザー/グループ	アクセス許可ユーザー/グループ画面が表示されます。 アクセス制御リストに表示されているユーザーやグループに宛先のアクセス権を設定できます。
文書保護：アクセス許可ユーザー/グループ	アクセス許可ユーザー/グループ画面が表示されます。 アクセス制御リストに表示されているユーザーやグループに文書のアクセス権を設定できます。

認証情報

項目	説明
ログイン用認証情報	[ログインユーザー名] と [ログインパスワード] を設定します。
SMTP 認証	認証情報の指定と [ログインユーザー名]、[ログインパスワード] を設定します。
フォルダー認証	認証情報の指定と [ログインユーザー名]、[ログインパスワード] を設定します。
LDAP 認証	認証情報の指定と [ログインユーザー名]、[ログインパスワード] を設定します。

ユーザーを削除する

機器のアドレス帳に登録されているユーザーを削除します。

1. アドレス情報管理ツールを起動します。

2. 削除するユーザーを選択します。

補足

- 複数のユーザーを選択するには、SHIFT キー、または CTRL キーを押しながらクリックします。

3. ［編集］メニューの［削除］をクリックします。

アイコンが に変わり、機器からの削除対象となります。

補足

- 削除対象にしたユーザーを削除対象から戻すには、もう一度［編集］メニューの［削除］をクリックします。

4. ［編集］メニューの［設定内容の送信］をクリックし、変更した情報を機器に反映します。

ユーザー情報を変更する

機器に登録されているユーザーの情報を変更します。

1. アドレス情報管理ツールを起動します。
2. 情報を変更するユーザーを選択して、［編集］メニューの［プロパティ］をクリックします。または、ユーザーをダブルクリックします。
3. 設定を変更します。

参照

- 設定する項目は、P.47「ユーザーのプロパティ」を参照してください。

4. ［OK］をクリックします。

アイコンが に変わり、情報が変更されたことを表します。

5. ［編集］メニューの［設定内容の送信］をクリックし、変更した情報を機器に反映します。

グループを追加する

新しくグループを作成し、機器のアドレス帳に登録します。

1. アドレス情報管理ツールを起動します。
2. ［編集］メニューの［グループ追加］をクリックします。
3. ［グループのプロパティ］画面で必要な情報を入力します。

参照

- 設定する項目は、P.53「グループのプロパティ」を参照してください。

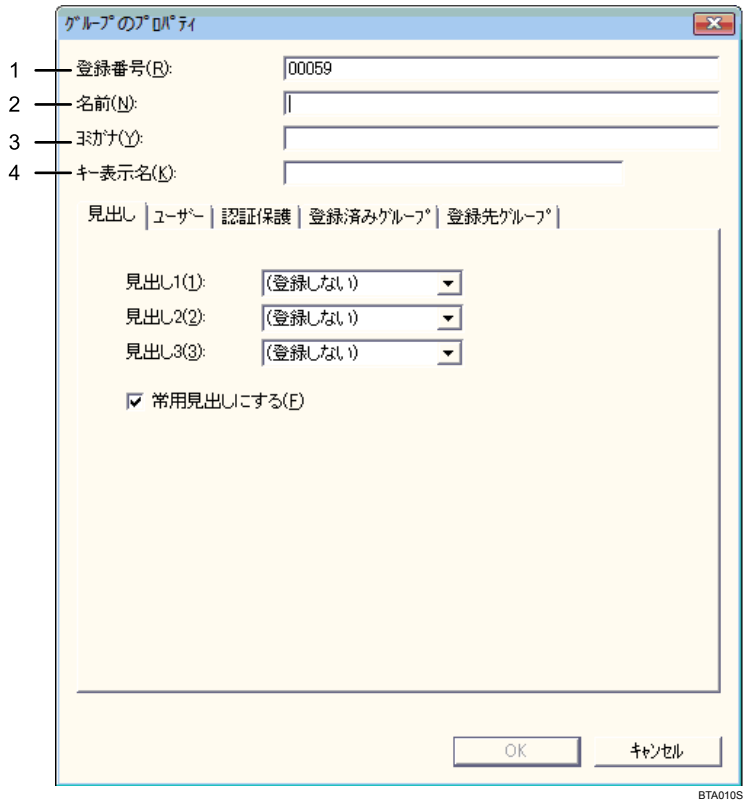
4. [OK] をクリックします。
   グループが追加され、アイコンが表示されます。
5. [編集] メニューの [設定内容の送信] をクリックし、登録した情報を機器に反映します。

グループのプロパティ

グループのプロパティで表示される項目は次のとおりです。

制限

- 機器によって対応していない項目は、半輝度または表示されません。



	項目	説明
1	登録番号	機器のオペレーションパネルでグループを選択するときに使用する番号を設定します。 グループを新規追加する場合、機器から自動的に採番されます。
2	名前	グループ名を設定します。

	項目	説明
3	ヨミガナ	検索時に使用する名前の読み仮名を設定します。
4	キー表示名	機器の操作パネルに表示される名前を設定します。

各タブで表示される項目は次のとおりです。

見出し

項目	説明
見出し 1	見出し語をあ段（あ～わ）から設定します。
見出し 2	見出し語をアルファベット（A ～ Z）から設定します。
見出し 3	見出し語を 1 ～ 5 から設定します。
常用見出しにする	チェックを付けると常用見出しに設定されます。

制限

- 見出し語は、必ず 1 つ以上登録してください。

ユーザー

項目	説明
登録番号	グループに登録されているユーザーの登録番号が表示されます。
名前	グループに登録されているユーザーの名前が表示されます。
キー表示名	グループに登録されているユーザーのキー表示名が表示されます。

認証保護

項目	説明
保護対象	• フォルダー宛先を保護する フォルダー宛先が保護されます。
宛先保護コード	[変更] をクリックするとフォルダー宛先を保護するためのパスワード（宛先保護コード）設定画面が表示されます。宛先保護コードを入力して [OK] をクリックすると、設定が反映されます。

項目	説明
宛先保護：アクセス許可ユーザー/グループ	アクセス許可ユーザー/グループ画面が表示されます。 アクセス制御リストに表示されているユーザーやグループに宛先のアクセス権を設定できます。

登録済みグループ

項目	説明
登録番号	対象グループに登録されているグループの登録番号が表示されます。
名前	対象グループに登録されているグループの名前が表示されます。
キー表示名	対象グループに登録されているグループのキー表示名が表示されます。

登録先グループ

項目	説明
登録番号	対象グループが所属するグループの登録番号が表示されます。
名前	対象グループが所属するグループ名が表示されます。
キー表示名	対象グループが所属するグループのキー表示名が表示されます。
追加	対象グループが所属するグループへの登録画面が表示されます。 追加する場合は、グループを選択して［OK］をクリックすると反映されます。
削除	グループを選択してクリックすると、対象グループへの所属が解除されます。

グループを削除する

機器のアドレス帳に登録されているグループを削除します。

補足

- グループを削除しても、グループに所属していたユーザーの情報は削除されません。

1. アドレス情報管理ツールを起動します。

2. 削除するグループを選択します。

補足

- 複数のグループを選択するには、SHIFT キー、または CTRL キーを押しながらクリックします。

3. ［編集］メニューの［削除］をクリックします。

アイコンが に変わり、機器からの削除対象となります。

補足

- 削除対象にしたグループを削除対象から戻すには、もう一度［編集］メニューの［削除］をクリックします。

4. ［編集］メニューの［設定内容の送信］をクリックし、変更した情報を機器に反映します。

グループ情報を変更する

機器のアドレス帳に登録されているグループの情報を変更します。

1. アドレス情報管理ツールを起動します。
2. 情報を変更するグループを選択して、［編集］メニューの［プロパティ］をクリックします。または、グループをダブルクリックします。
3. ［グループのプロパティ］画面で設定を変更します。

参照

- 設定する項目は、P.53「グループのプロパティ」を参照してください。

4. ［OK］をクリックします。

アイコンが に変わり、情報が変更されたことを表します。

5. ［編集］メニューの［設定内容の送信］をクリックし、変更した情報を機器に反映します。

グループにユーザーを追加する

グループにユーザーを追加します。

グループのプロパティに［登録先グループ］タブが存在する場合、グループにグループを追加することも可能です。

1. アドレス情報管理ツールを起動します。

2. グループに追加するユーザーまたはグループを選択します。

補足

- 複数のユーザーやグループを選択するには、SHIFT キー、または CTRL キーを押しながらクリックします。

3. [編集] メニューの [グループに追加...] をクリックします。
4. 選択したユーザーやグループを所属させるグループを選択し、[OK] をクリックします。

   アイコンが または に変わり、情報が変更されたことを表します。
5. [編集] メニューの [設定内容の送信] をクリックし、変更した情報を機器に反映します。

参照

- P.52「ユーザー情報を変更する」
- P.56「グループ情報を変更する」

ユーザーやグループを検索する

指定した項目に指定した文字列が含まれるユーザーやグループを検索します。

1. アドレス情報管理ツールを起動します。
2. [編集] メニューの [検索] をクリックします。
3. [アドレス帳検索] 画面で、[検索キー] のドロップダウンメニューから検索に使用する項目を選択します。
4. [検索する文字列] に検索する文字列を入力し、[次へ] をクリックします。

補足

- [あいまい検索を使用する] にチェックを付けると、全角/半角、大文字/小文字、ひらがな/カタカナなどの文字を区別しないで検索します。

アドレス帳の情報をファイルに書き出す

機器のアドレス帳の情報を CSV ファイルとして保存します。

制限

- 機器へのログインパスワードは出力されません。

1. アドレス情報管理ツールを起動します。
2. [ファイル] メニューの [データの書き出し] をクリックします。
3. 保存するフォルダーとファイル名を指定し、[保存] をクリックします。

補足

- 登録エントリー情報、機器タグ情報、機器 Fax 情報の 3 つのファイルが書き出されます。

参照

- P.79「アドレス帳の CSV ファイルフォーマット」

ファイルを使用してアドレス帳の情報を登録する

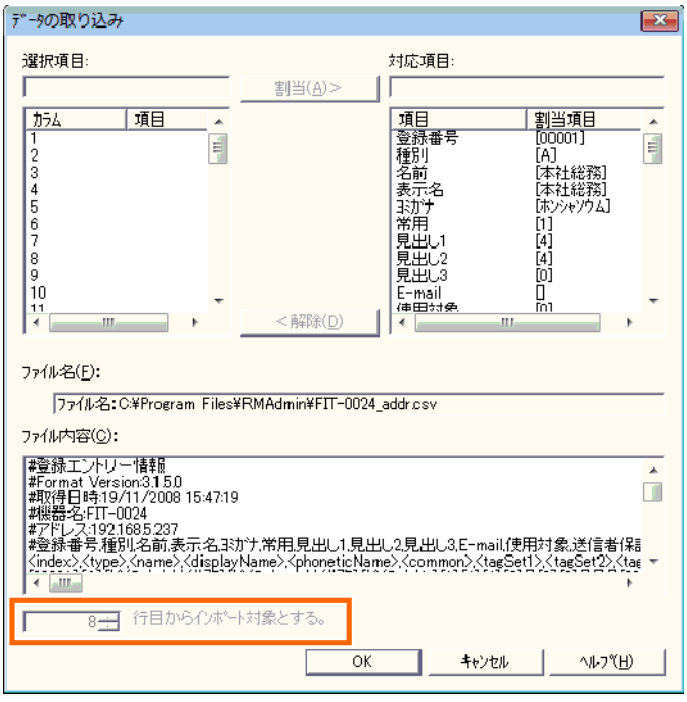
CSV ファイルを使用してアドレス帳の情報を登録します。

アドレス情報管理ツールで書き出した CSV ファイルだけでなく、他のメールソフトなどから書き出した CSV ファイルを使うこともできます。

アドレス情報管理ツールで書き出した CSV ファイルのフォーマットについては、P.79「アドレス帳の CSV ファイルフォーマット」を参照してください。

1. アドレス情報管理ツールを起動します。
2. [ファイル] メニューの [データの取り込み] をクリックします。
3. 読み込むファイルを指定し、[開く] をクリックします。

   [データの取り込み] 画面が表示されます。
4. ファイルの何行目から読み込むかを左下のボックスで設定します。



5. ［選択項目］の一覧からファイルの項目を選択し、その項目を割り当てる機器のアドレス帳の項目を［対応項目］の一覧から選択します。

補足

- アドレス情報管理ツールで書き出した CSV ファイルを読み込んだ場合、自動的に項目が割り当てられるため、手順 5 ～ 7 は不要です。

6. ［割当］をクリックします。

［対応項目］の一覧の［割当項目］に割り当てた項目が表示されます。

7. 手順 5、6 を繰り返して、必要な項目をすべて割り当てます。

8. ［OK］をクリックします。

読み込んだ情報が現在表示されている情報に追加されます。同じ登録番号を取り込んだ場合は上書きされます。

補足

- 読み込むデータにエラーがあった場合、エラー画面が表示されます。画面の［詳細レポート］をクリックして、［行番号：列番号］で示されている箇所を修正してください。また、［エラーレポート］画面で［ファイルの編集］をクリックすると、データが表示されるので、そのままエラー個所を修正できます。
- ダイレクト SMTP 機能を持たない機器の場合、インターネットファクス送信時の SMTP サーバーを経由するかどうかの設定は読み込まれません。

9. ［編集］メニューの［設定内容の送信］をクリックし、変更した情報を機器に反映します。

補足

- 機器によっては、ユーザーコードを入力した CSV ファイルの設定内容を送信している間、機器本体が使用できなくなる場合があります。

アドレス帳のバックアップ/リストア

機器のアドレス帳の情報をバックアップファイルとして書き出し、必要なときにリストアできます。

アドレス帳をバックアップする

機器に保存されているアドレス帳のバックアップファイルを作成します。

補足

- バックアップしたアドレス帳のデータはバックアップ元の機器にだけリストアできます。
- アドレス帳データの漏洩を防止するため、バックアップする際にデータを暗号化するためのパスワードを入力する画面を表示する機器もあります。暗号化されたデータはバックアップ元の機器だけでなく、同一機器にリストアすることも可能です。

1. アドレス情報管理ツールを起動します。
2. [ファイル] メニューの [データのバックアップ] をクリックします。

   補足

   - 機器によっては、データを暗号化するためのパスワードを入力する画面が表示されます。
3. 保存するフォルダーとファイル名を指定し、[保存] をクリックします。

参照

- P.60「アドレス帳をリストアする」

アドレス帳をリストアする

バックアップしておいたアドレス帳のデータを機器にリストアします。リストアすると、機器に保存されているアドレス帳はリストアするデータで上書きされます。

重要

- **アドレス帳のリストアを実行すると、ユーザー別のカウンター情報はリセットされます。**

1. アドレス情報管理ツールを起動します。
2. [ファイル] メニューの [データのリストア] をクリックします。

3. リストアするアドレス帳のデータのファイルを指定し、［開く］をクリックします。

補足

- バックアップ時に暗号化したデータをリストアする場合は、バックアップ時に設定したパスワードを入力する必要があります。

4. ［編集］メニューの［設定内容の送信］をクリックし、変更した情報を機器に反映します。

補足

- 機器によっては、リストアするアドレス帳データを送信している間、機器本体が使用できなくなる場合があります。

参照

- P.60「アドレス帳をバックアップする」

機器に対する操作

アドレス情報管理ツールで設定した情報を機器に送信したり、機器から情報を再取得します。

アドレス情報管理ツールの設定を機器に反映する

アドレス情報管理ツールで編集した内容を機器に送信し、機器の設定を更新します。

1. アドレス情報管理ツールを起動します。
2. 各設定を変更します。
3. ［編集］メニューの［設定内容の送信］をクリックします。

補足

- 機器によっては、アドレス情報管理で編集した内容を機器に送信している間、機器本体が使用できなくなる場合があります。
- エラーが発生する場合は、P.91「こんなときには」を参照してください。

機器から情報を取得し直す

機器から情報を取得し直し、アドレス情報管理ツールの一覧に表示されている内容を更新します。

1. アドレス情報管理ツールを起動します。
2. ［表示］メニューの［機器の情報を再取得］をクリックします。

   前回取得した情報に対してアドレス情報管理ツールで何か操作した場合、確認のメッセージが表示されます。メッセージに従って操作してください。

5. ユーザー情報の管理

Network Monitor for Admin でユーザー情報を管理する方法を説明します。ユーザー情報管理ツールを使用して、ユーザーごとの印刷枚数を管理したり、利用可能な機能を制限できます。

ユーザーごとに印刷枚数を確認する

ユーザー別に印刷状況を確認したり、その結果をファイルに書き出し保存できます。

ユーザー情報管理ツールを起動する

1. 機器検索一覧画面、または対象機器が所属するグループを開きます。
2. 一覧からユーザー情報を管理する機器をクリックして選択します。
3. ［ツール］メニューの［ユーザー情報管理ツール］をクリックします。
   ［認証情報入力］画面が表示されます。
4. 機器のログインユーザー名とログインパスワードを入力して［OK］をクリックします。
   ユーザー情報管理ツールが起動します。

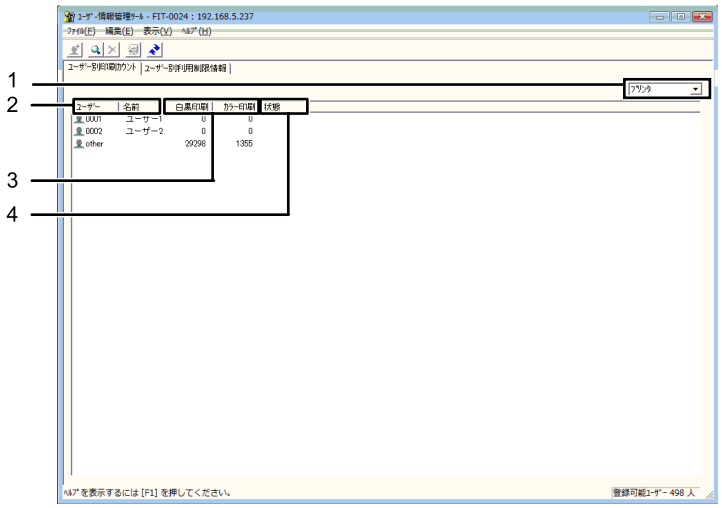
補足

- 機器によっては、認証方式が異なる場合があります。

印刷枚数を表示する

ユーザー情報管理ツールを使用して、ユーザー別の印刷枚数情報を表示する方法を説明します。

1. ユーザー情報管理ツールを起動します。
2. ［ユーザー別印刷カウント］タブをクリックします。
3. 表示する内容をドロップダウンリストから選択します。
   選択した内容がユーザーごとに表示されます。



BTA006S

	名称	説明
1	表示する内容	印刷枚数を表示する機能を選択します。
2	ユーザー、名前	機器に登録されているユーザー名と名前です。
3	白黒印刷、単色印刷、2 色印刷、カラー印刷	白黒印刷、単色印刷、2 色印刷、カラー印刷した枚数です。
4	状態	機器から取得した情報に対してユーザー情報管理ツールで何か操作した場合は、その操作結果が表示されます。操作結果を有効にするには、ユーザー情報管理ツールの設定を機器に反映してください。 参照 • P.75「ユーザー情報管理ツールの設定を機器に反映する」

印刷枚数の情報をリセットする

ユーザーごとに、印刷枚数の情報をリセットする方法を説明します。

リセットできるのは、次の情報です。

- 印刷（コピー・ファクス印刷・プリンタ）カウンター
- ファクス送信カウンター
- スキャナーカウンター

制限

- この機能に対応していない機器もあります。
- 機器によっては、ユーザー情報を設定する場合、ユーザー情報を保護するためユーザーの認証を行います。操作できるメニューについては、P.72「管理者別機能一覧」を参照してください。

1. ユーザー情報管理ツールを起動します。
2. [ユーザー別印刷カウント] タブをクリックします。
3. リセットするユーザーを選択します。

   補足

   - 複数のユーザーを選択するには、SHIFT キー、または CTRL キーを押しながらクリックします。
4. [編集] メニューの [ユーザー別印刷カウントのリセット] をクリックします。
5. リセットする項目にチェックを付け、[OK] をクリックします。
6. 確認のメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

   選択した印刷種類のカウントが 0 になり、「状態」に「変更あり」と表示されます。
7. [編集] メニューの [設定内容の送信] をクリックします。

   変更した情報が機器に反映されます。

印刷枚数の情報をファイルに書き出す

ユーザー別の印刷枚数情報を CVS ファイルで保存する方法を説明します。

補足

- CSV ファイルでは [ユーザー別印刷カウント] タブに表示されている情報だけでなく、用紙サイズ別（長さが大サイズ、小サイズ）の枚数も保存されます。

CSV ファイルの出力フォーマットをデフォルトのまま書き出す場合

1. ユーザー情報管理ツールを起動します。
2. [ユーザー別印刷カウント] タブをクリックします。
3. [ファイル] メニューの [ユーザー別印刷カウントの書き出し] をクリックします。
4. 保存するフォルダーとファイル名を指定し、[保存] をクリックします。

CSV ファイルの出力項目を選択して書き出す場合

1. ユーザー情報管理ツールを起動します。

2. [ユーザー別印刷カウント] タブをクリックします。
3. [ファイル] メニューの [ユーザー別印刷カウント出力フォーマットの編集] をクリックします。
4. 出力するカウンターにチェックを付けます。
5. [OK] をクリックします。
6. [ファイル] メニューの [ユーザー別印刷カウントの書き出し] をクリックします。
7. 保存するフォルダーとファイル名を指定し、[保存] をクリックします。

参照

• P.77「ユーザー別印刷枚数の CSV ファイルフォーマット」

ユーザー情報の設定

機器を使用するユーザーについての設定をします。ユーザーを設定することで、ユーザーごとに機器の利用を制限したり、その設定をファイルに保存できます。

制限

- 機器によっては、ユーザー情報を設定する場合、ユーザー情報を保護するためユーザーの認証を行います。操作できるメニューについては、P.72「管理者別機能一覧」を参照してください。

補足

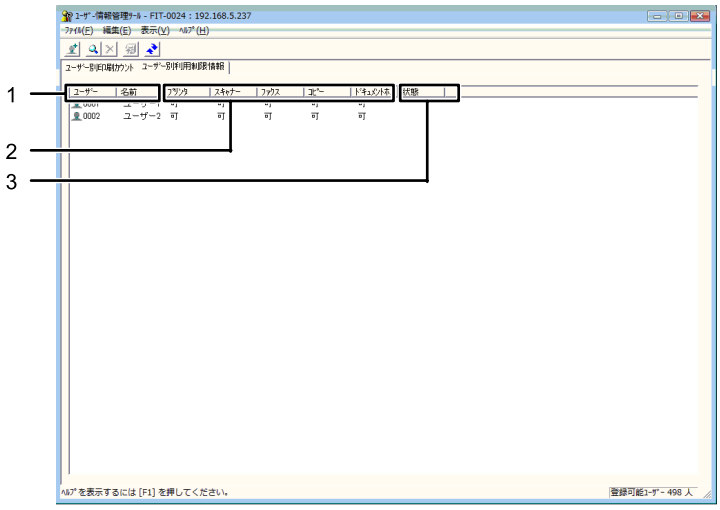
- 機器によっては、認証方式が異なる場合があります。

ユーザー別利用制限情報を表示する

機器に登録されているユーザーごとに、搭載している機能を使用できるかどうかが表示されます。

1. ユーザー情報管理ツールを起動します。
2. [ユーザー別利用制限情報] タブをクリックします。

   ユーザーごとの利用制限情報が表示されます。



BTA007S

	名称	説明
1	ユーザー、名前	機器に登録されているユーザーと名前が表示されます。 補足 • ユーザーは、認証方式によってユーザーコードまたはユーザー名が表示されます。
2	プリンタ、スキャナー、ファクス、コピー、ドキュメントボックス	ユーザーが機能を使用できるかどうかが表示されます。搭載されていない機能は表示されません。
3	状態	機器から取得した情報に対して、ユーザー情報管理ツールで何か操作した場合は、その操作結果が表示されます。操作結果を有効にするには、ユーザー情報管理ツールの設定を機器に反映してください。 参照 • P.75「ユーザー情報管理ツールの設定を機器に反映する」を参照してください。

参照

• P.69「ユーザーを検索する」

ユーザーを追加する

機器に新規ユーザーを登録し、利用制限の設定ができます。

制限

• 機器によっては、ユーザー情報を保護するためユーザーの認証を行います。

1. ユーザー情報管理ツールを起動します。
2. [ユーザー別利用制限情報] タブをクリックします。
3. [編集] メニューの [新規ユーザーの追加] をクリックします。
4. [新規ユーザーの追加] 画面で [ユーザーコード] と [名前] を入力します。

補足

• 機器がユーザー認証をしている場合、パスワードの [変更] ボタンが表示されます。必要に応じて [変更] ボタンを押してパスワードを設定してください。

参照

- 入力できる文字や文字数については、機器の使用説明書を参照してください。

5. [OK] をクリックします。

   ユーザーが追加され、アイコンが表示されます。

6. [編集] メニューの [設定内容の送信] をクリックし、変更した情報を機器に反映します。

参照

- P.70「機器機能の利用制限を設定する」

ユーザーを削除する

機器に登録されているユーザーを削除します。

制限

- 機器によっては、ユーザー情報を保護するためユーザーの認証を行います。

1. ユーザー情報管理ツールを起動します。
2. [ユーザー別利用制限情報] タブをクリックします。
3. 削除するユーザーを選択します。

   補足

   - 複数のユーザーを選択するには、SHIFT キー、または CTRL キーを押しながらクリックします。

4. [編集] メニューの [ユーザーの削除] をクリックします。

   アイコンがに変わり、機器からの削除対象となります。

   補足

   - 削除対象にしたユーザーを戻すには、もう一度 [編集] メニューの [ユーザーの削除] をクリックします。

5. [編集] メニューの [設定内容の送信] をクリックし、変更した情報を機器に反映します。

ユーザーを検索する

ユーザーを、文字列を指定して検索します。

1. ユーザー情報管理ツールを起動します。
2. ユーザーを検索する情報のタブをクリックします。
3. [編集] メニューの [ユーザーの検索] をクリックします。

4. 検索する文字列を入力し、［次を検索］をクリックします。
   指定した文字列で［ユーザー］と［名前］が検索されます。

利用可能な機能を設定/変更する

利用制限を設定した場合、利用を許可されたユーザーのユーザーコードを入力しないと、機器の機能を利用できません。

機器機能の利用制限を設定する

機器に搭載されている機能ごとに利用制限するかしないかを設定します。

制限

- 機器によっては、ユーザー情報を保護するためユーザーの認証を行います。

1. ユーザー情報管理ツールを起動します。
2. ［編集］メニューの［機器利用制限設定］をクリックします。
3. ［機器利用制限設定］画面で、利用制限する機能にチェックを付け、利用制限しない機能はチェックを外します。

   制限

   - ユーザーコードが未登録の場合、［ユーザーコードの自動登録設定］にチェックを付けると、ユーザーコードが自動的に追加されます。
   - プリンタに利用制限を設定すると、ユーザーコードの自動登録は設定できなくなります。
4. ［OK］をクリックします。
5. 確認のメッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。
   設定内容が機器に反映されます。

参照

- P.75「ユーザーコードの自動登録を設定する」

ユーザー情報と利用可能な機能を変更する

機器に登録されているユーザーコード/ユーザー名と名前、機器に搭載されている機能の使用可否の設定を変更します。

制限

- 機器によっては、ユーザー情報を保護するためユーザーの認証を行います。

補足

- 機能に対する使用の可否をユーザーごとに変更するには、対象の機能の利用制限をするように、あらかじめ機器に対して設定しておく必要があります。利用制限の設定手順は、P.70「機器機能の利用制限を設定する」を参照してください。

1. ユーザー情報管理ツールを起動します。
2. [ユーザー別利用制限情報] タブをクリックします。
3. 情報を変更するユーザーを選択して、[編集] メニューの [ユーザーのプロパティ] をクリックします。または、ユーザーをダブルクリックします。
4. 設定を変更します。

   補足

   - 利用制限が設定されている機能の使用可否を変更するには、[利用可能な機能] で利用可能にする機能にチェックを付け、利用制限する機能はチェックを外します。
   - チェックボックスがグレーになっている機能は利用制限が設定されていません。

   参照

   - ユーザーコード/ユーザー名と名前に入力できる文字や文字数については、機器の使用説明書を参照してください。
5. [OK] をクリックします。

   アイコンが に変わり、情報が変更されたことを表します。
6. [編集] メニューの [設定内容の送信] をクリックし、変更した情報を機器に反映します。

ユーザー情報をファイルに書き出す

[ユーザー別利用制限情報] タブに表示されているユーザーコード/ユーザー名と名前を CSV ファイルとして保存します。

制限

- 機器によっては、ユーザー情報を保護するためユーザーの認証を行います。

1. ユーザー情報管理ツールを起動します。
2. [ユーザー別利用制限情報] タブをクリックします。
3. [ファイル] メニューの [ユーザー情報の書き出し] をクリックします。
4. 保存するフォルダーとファイル名を指定し、[保存] をクリックします。

参照

- P.78「ユーザー情報の CSV ファイルフォーマット」

ファイルを使用してユーザー情報を登録する

書き出した CSV ファイルを使用してユーザーと名前を登録します。

参照

- 使用する CSV ファイルの詳細は、P.77「CSV ファイルのフォーマット」を参照してください。

制限

- 機器によっては、ユーザー情報を保護するためユーザーの認証を行います。

1. ユーザー情報管理ツールを起動します。
2. [ユーザー別利用制限情報] タブをクリックします。
3. [ファイル] メニューの [ユーザー情報の取り込み] をクリックします。
4. 取り込むファイルを指定し、[開く] をクリックします。

   補足

   - 取り込んだユーザー情報は現在表示されている情報に追加されます。
   - すでに登録されているユーザーの情報を取り込んだ場合は、上書きされます。
5. [編集] メニューの [設定内容の送信] をクリックし、取り込んだ情報を機器に反映します。

管理者別機能一覧

ユーザー認証管理/管理者認証管理に対応している機器のユーザー情報を設定する場合、ユーザー情報を保護するためユーザーの認証を行い、操作できるメニューを制限します。

各管理者で設定できる機能は次のとおりです。

補足

- 機器管理者とユーザー管理者が同じ場合、すべてのメニューを操作できます。

[ユーザー別印刷カウント] タブ

メニュー	操作	機器管理者	ユーザー管理者
ファイル	ユーザー別印刷カウントの書き出し	実行可	実行可
	ユーザー別印刷カウント出力フォーマットの編集	実行可	実行可
	アプリケーションから CSV ファイルを開く...	実行可	実行可
	終了	実行可	実行可

メニュー	操作	機器管理者	ユーザー管理者
編集	機器利用制限設定	実行可*1	実行可*2
	ユーザー別印刷カウントのリセット	実行可*3	実行可*3
	ユーザーの検索	実行可	実行可
	設定内容の送信	実行可	実行可
	すべて選択	実行可	実行可
表示	ユーザー別印刷カウント	実行可	実行可
	ユーザー別利用者制限情報	実行可	実行可
	機器の情報を再取得	実行可	実行可
ヘルプ	トピックの検索	実行可	実行可
	バージョン情報	実行可	実行可

*1 ユーザー認証管理が［ユーザーコード認証］または［認証しない］の場合だけ設定可能です。

*2 ユーザー認証管理が［ユーザーコード認証］または［認証しない］の場合だけ参照可能です。

*3 機器によって実行できる管理者が異なります。詳細は、機器の使用説明書を参照してください。

［ユーザー別利用制限情報］タブ

メニュー	操作	機器管理者	ユーザー管理者
ファイル	アプリケーションから CSV ファイルを開く...	実行可	実行可
	ユーザー情報の書き出し	実行不可	実行可
	ユーザー情報の取り込み	実行不可	実行可
	終了	実行可	実行可

メニュー	操作	機器管理者	ユーザー管理者
編集	機器利用制限設定	実行可*1	実行可*2
	ユーザーの検索	実行可	実行可
	新規ユーザーの追加	実行不可	実行可
	ユーザーの削除	実行不可	実行可
	ユーザーのプロパティ	実行可*3	実行可
	設定内容の送信	実行可	実行可
	すべて選択	実行可	実行可
表示	ユーザー別印刷カウント	実行可	実行可
	ユーザー別利用者制限情報	実行可	実行可
	機器の情報を再取得	実行可	実行可
ヘルプ	トピックの検索	実行可	実行可
	バージョン情報	実行可	実行可

*1 ユーザー認証管理が［ユーザーコード認証］または［認証しない］の場合だけ設定可能です。

*2 ユーザー認証管理が［ユーザーコード認証］または［認証しない］の場合だけ参照可能です。

*3 参照だけが可能です。設定できません。

機器に対する操作

ユーザー情報管理ツールで設定した内容を機器に反映したり、ユーザーコードの自動登録ができます。

ユーザー情報管理ツールの設定を機器に反映する

［ユーザー別印刷カウント］タブと［ユーザー別利用制限情報］タブで行った編集内容を機器に送信し、機器の設定を更新します。

補足

- どちらのタブが選択されていても、両方のタブの設定が更新されます。

1. ユーザー情報管理ツールを起動します。
2. 各タブの設定を変更します。
3. ［編集］メニューの［設定内容の送信］をクリックします。
   ［状態］に表示されていた項目が消え、 が に変わります。

機器から情報を取得し直す

機器から情報を取得し直し、［ユーザー別印刷カウント］タブと［ユーザー別利用制限情報］タブの内容を更新します。

1. ユーザー情報管理ツールを起動します。
2. ［表示］メニューの［機器の情報を再取得］をクリックします。

   補足

   - 前回取得した情報に対してユーザー情報管理ツールで何か操作した場合、確認のメッセージが表示されます。メッセージに従って操作してください。

ユーザーコードの自動登録を設定する

プリンタへの印刷指示時に未登録のユーザーコードが指定された場合、そのユーザーコードを機器に自動登録するかどうかを設定します。

制限

- プリンタに利用制限が設定されている場合、ユーザーコードの自動登録は設定できません。

1. ユーザー情報管理ツールを起動します。

2. ［編集］メニューの［機器利用制限設定］をクリックします。
3. 自動登録する場合は［ユーザーコードの自動登録］にチェックを付け、しない場合は外します。
4. ［OK］をクリックします。
5. 確認のメッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。

   設定内容が機器に反映されます。

参照

• P.70「機器機能の利用制限を設定する」

6. 付録

CSV ファイルのフォーマット

CSV ファイルのフォーマットについて説明します。

CSV ファイルの書き出しについては、以下を参照してください。

参照

- P.65「印刷枚数の情報をファイルに書き出す」
- P.71「ユーザー情報をファイルに書き出す」
- P.57「アドレス帳の情報をファイルに書き出す」

ユーザー別印刷枚数の CSV ファイルフォーマット

ユーザー別の印刷枚数を CSV ファイルに書き出すと、CSV ファイルは次のフォーマットで書き出されます。

行番号	内容
1	文字列"#ユーザー別印刷カウント"
2	文字列"#Format Version:1.2.3.0"
3	文字列"#取得日時:"データを書き出した日時
4	文字列"#機器名:"データを書き出した機器の名前
5	文字列"#アドレス:"データを書き出した機器の IP アドレス
6	（空白）
7	各項目の見出し
8 行目以降	機器のユーザー別印刷枚数です。 各行に 1 ユーザー分のデータを表示します。

制限

- 1 ～ 6 行目は識別用の固定行のため、変更しないでください。8 行目以降を編集できます。

補足

- ユーザー別印刷カウントは 8 行目以降に各項目をカンマ（,）で区切って書き出されます。
- ユーザーコードと名前は[ ]で囲まれます。
- 設定対象の機器に搭載されていない機能の場合はマイナス記号（-）が半角で書き出されます。
- ［CSV フォーマットの編集］画面でチェックを付けた項目のカウンターだけが CSV に出力されます。チェックが付いていない場合、［OK］ボタンが半輝度表示になります。

ユーザー情報の CSV ファイルフォーマット

機器がもつユーザー情報の CSV ファイルフォーマットについて説明します。機器からユーザー情報を CSV ファイルに書き出せます。そのファイルを編集した後で、別の機器に対して取り込めます。

参照

- P.71「ユーザー情報をファイルに書き出す」
- P.72「ファイルを使用してユーザー情報を登録する」

行番号	内容
1	文字列"#ユーザー情報"
2	文字列"#Format Version:1.1.2.0"
3	文字列"#"
4	文字列"#2:利用可（自動カラー選択に限定）、1:利用可、0:利用不可"
5	（空白）
6	各項目の見出し
7	各項目のコード名
8 行目以降	機器がもつユーザー情報です。 各行に 1 ユーザー分のデータを表示します。

制限

- 1 ～ 7 行目は識別用の固定行のため、変更しないでください。8 行目以降は編集できます。

補足

- ユーザーコードと名前は[ ]で囲まれます。
- 各機能の利用制限情報は、自動カラー選択限定で利用可の場合は「2」、利用可の場合は「1」、利用不可の場合は「0」、設定対象の機器に搭載されていない機能の場合はマイナス記号（-）を半角で記入します。

アドレス帳の CSV ファイルフォーマット

アドレス帳の CSV ファイルフォーマットについて説明します。機器からアドレス帳を CSV ファイルに書き出せます。そのファイルを編集した後で、別の機器に対して取り込めます。アドレス情報管理ツールで書き出した CSV ファイルのうち、エントリー情報については次のとおりです。

制限

- 読み込むデータへの禁則文字は次のとおりです。
  - 制御文字（TAB、改行など）
  - 機種依存文字（㈱、①など）
  - スペース、コロン(:)、ダブルクォーテーション(")
- ログインユーザー名とログインパスワードによる認証の場合、CSV ファイルを使ってログインパスワードは読み込めません。

参照

- P.57「アドレス帳の情報をファイルに書き出す」
- P.58「ファイルを使用してアドレス帳の情報を登録する」

行番号	内容
1	文字列"#登録エントリー情報"
2	文字列"#Format Version:3.1.5.0"
3	文字列"#取得日時:"データを書き出した日時
4	文字列"文字列"#機器名:"データを書き出した機器の名前"
5	文字列"#アドレス:"データを書き出した機器の IP アドレス
6	各項目の見出し
7	各項目のコード名
8 行目以降	機器がもつアドレス帳データです。 各行に 1 ユーザー分のデータを表示します。

制限

- 1 ～ 7 行目は識別用の固定行のため、変更しないでください。8 行目以降は編集できます。

補足

- すべての項目が[ ]で囲まれて表示されます。
- [ファクスあて先データ取得/登録] を使用してファクス機器の情報を取得/登録する機器の場合、ファクスの項目は、空欄です。また、この空欄に情報を追加しても機器には反映されません。

アドレス帳 CSV ファイルの各項目

アドレス帳 CSV ファイルの各項目について説明します。表中の"項目"は CSV ファイル 6 行目の見出しです。

制限

- お使いの機器により、設定できる項目が異なります。
- 登録番号、種別、名前は入力必須項目です。

項目	内容
登録番号	機器のオペレーションパネルでユーザーを選択するときに使用する番号を設定します。
種別	種別に記入する文字の意味は次のとおりです。 • A：ユーザー • G：グループ
名前	ユーザー名を設定します。
表示名	機器の操作パネルに表示される名前を設定します。
ヨミガナ	検索時に使用する名前の読み仮名を設定します。
常用	常用に記入する数値の意味は次のとおりです。 • 0：常用見出しに表示しません。 • 1：常用見出しに表示します。
見出し 1 見出し 2 見出し 3	操作パネルでアドレス帳を見るときに表示されるタイトル（見出し）です。 制限 • 常用、見出し 1、見出し 2、見出し 3 のいずれか 1 つは、0 以外を記入する必要があります。

項目	内容
E-mail	メールアドレスを設定します。
使用対象	• 0：登録エントリーを宛先としてだけ使用します。送信者の指定時は、アドレス帳に表示しません。 • 1：登録エントリーを宛先と送信者の両方に使用します。宛先と送信者のどちらを指定するときもアドレス帳に表示します。 • 2：登録エントリーを送信者としてだけ使用します。宛先を指定するときにはアドレス帳に表示しません。 • 3：登録エントリーを宛先と送信者のどちらにも使用しません。宛先と送信者のどちらを指定するときもアドレス帳には表示しません。 • 10：登録エントリーを宛先としてだけ使用します。送信者を指定するときにはアドレス帳に表示しません。 • 11：登録エントリーを宛先と送信者の両方に使用します。宛先と送信者のどちらを指定するときもアドレス帳に表示します。 • 12：登録エントリーを送信者としてだけ使用します。宛先を指定するときにはアドレス帳に表示しません。 • 13：登録エントリーを宛先と送信者のどちらにも使用しません。宛先と送信者のどちらを指定するときもアドレス帳には表示しません。
送信者保護	• 0：送信者を保護しません。 • 1：送信者を保護します。 送信者をメールアドレスで指定する場合、パスワード（宛先保護コード）を入力する必要があります。
パスワード	パスワード（宛先保護コード）は、宛先を保護する際のパスワードを記入します。詳細は、P.53「グループのプロパティ」を参照してください。
ユーザーコード/機器へのログインユーザー名	ユーザーコードは機器に登録されたユーザーの番号で、数字のみを記入します。
所属グループ	所属グループは、グループの登録番号を記入します。 複数のグループに属する場合は、登録番号をスラッシュ（/）で区切ります。例）[3/4/7]はグループ 3、4、7 にユーザーが所属していることを示します。
ファクス宛先	ファクス番号または IP-ファクスアドレスを設定します。

項目	内容
回線種別	使用する回線種別を設定します。 • 0：G3 • 1：内線 • 2：G3-1 • 3：G3-1-内線 • 4：G3-2 • 5：G3-2-内線 • 6：G3-3 • 7：G3-3-内線 • 8：G3 空き回線 • 9：内線空き回線 • 10：I-G3 • 11：I-G3-内線 • 12：G4
海外送信モード	海外送信モードを設定します。 • 0：海外送信モードを使用しません。 • 1：海外送信モードを使用します。
発信元名称	発信元名称を設定します。
宛名差し込み 1 行目（選択）	宛名差し込みを使用するかを設定します。 • 0：宛名差し込を使用しません。 • 1：宛名差し込を使用します。
宛名差し込み 2 行目（文字列）	宛名差し込みとして使用する文字列を設定します。
宛名差し込み 3 行目（定型文）	宛名差し込みとして使用する定型文を設定します。 補足 • 1 ～ 4 はデフォルトで設定された定型文が入っています。

項目	内容
フォルダー宛先保護	• 0：フォルダー宛先を保護しません。 • 1：フォルダー宛先を保護します。 フォルダー送信機能で使用するフォルダーを宛先に指定する場合、パスワード（宛先保護コード）を入力する必要があります。 補足 • 宛先のフォルダーが指定されていない場合は無効になります。
パスワード方式	パスワード（宛先保護コード）の方式を設定します。
プロトコル	• 0：SMB • 1：FTP • NCP(Bindary) • NCP(NDS)
ポート番号	ポート番号は、プロトコルに FTP を使用するときのポート番号を記入します。プロトコルに SMB、または NCP を使用するときは空欄にします。
サーバー名	サーバー名は、宛先にするフォルダーがあるサーバーの名前を記入します。プロトコルに SMB、または NCP を使用するときは空欄にします。
パス名	パス名は、宛先にするフォルダーのパスを記入します。プロトコルに FTP を使用するときは、サーバー名を除いたパスを記入します。プロトコルに SMB、または NCP を使用するときは、サーバー名を含めたパスを記入します。
ユーザー名	ユーザー名は、フォルダーにアクセスするユーザー名を記入します。
日本語文字コード	日本語文字コードは、プロトコルに FTP を使用するときの文字コードを記入します。 • 0：US-ASCII コードを使用します。 • 1：シフト JIS コードを使用します。 • 2：EUC-JP コードを使用します。

項目	内容
ユーザーへのアクセス権 保護された文書へのアクセス権	ユーザーへのアクセス権と保護された文書へのアクセス権は、［登録番号+権限］で指定します。登録番号に 0 を記入すると全員を指定します。権限で記入する文字の意味は次のとおりです。 • R：閲覧 • W：編集 • D：編集/削除 • X：フルコントロール 複数のエントリーを指定する場合は、登録番号をスラッシュ（/）で区切ります。
IP-ファクスプロトコル	• 0：H323 • 1：SIP
IP-ファクス宛先	IP-ファクス宛先は、IP-ファクスで使用するアドレスを記入します。
機器へのログインパスワード	機器へのログインパスワードは、出力されません。また、編集できません。
パスワード方式	ログインパスワードの方式を設定します。
SMTP 認証	認証で使用する認証情報を設定します。 • 0：指定しない • 1：ログイン用認証情報を使用 • 2：別の認証情報を指定
SMTP 認証：ログインユーザー名	SMTP 認証のログインユーザー名を入力します。
SMTP 認証：ログインパスワード	ログインパスワードは出力されません。また、編集できません。
パスワード方式	SMTP 認証のログインパスワード方式を設定します。
フォルダー認証	認証で使用する認証情報を設定します。 • 0：指定しない • 1：ログイン用認証情報を使用 • 2：別の認証情報を指定
フォルダー認証：ログインパスワード	ログインパスワードは出力されません。また、編集できません。

項目	内容
パスワード方式	フォルダー認証のログインパスワード方式を設定します。
LDAP 認証	認証で使用する認証情報を設定します。 • 0：指定しない • 1：ログイン用認証情報を使用 • 2：別の認証情報を指定
LDAP 認証：ログインユーザー名	LDAP 認証のログインユーザー名を入力します。
LDAP 認証：ログインパスワード	ログインパスワードは出力されません。また、編集できません。
パスワード方式	LDAP 認証のログインパスワード方式を設定します。
ログインユーザー名	ログインユーザー名を入力します。
ダイレクト SMTP	• 0：サーバーを経由します。 • 1：サーバーを経由しません。 メールアドレスを設定していないときは記入できません。

状態表示アイコンの一覧

機器検索一覧画面やグループ画面、機器の状態の詳細画面などに表示されるアイコンについて説明します。

補足

- 機器によって検知できる状態が異なるため、表示されないアイコンもあります。

システムの状態表示アイコン

アイコン	説明
空欄	正常です。
	復旧できないエラーが発生しています。機器を確認し、必要に応じてサービス実施店に連絡してください。
	トナーなど消耗品の補給が必要です。
	機器との通信でエラーが発生し、情報を取得できませんでした。
	機器から応答がありません。

機器の状態表示アイコン

アイコン	説明
空欄	正常です。
	復旧できないエラーが発生しています。機器を確認し、必要に応じてサービス実施店に連絡してください。
	トナーなど消耗品の補給が必要です。
	機器との通信でエラーが発生し、情報を取得できませんでした。
	機器から応答がありません。

プリンタの状態表示アイコン

アイコン	説明
	印刷できる状態です。

アイコン	説明
	印刷中です。
	オフラインです。
	ウォームアップ中です。しばらくすると印刷できる状態になります。
	省エネモードで待機中です。
	用紙が残りわずかです。
	用紙がなくなりました。
	用紙がつまっています。
	トナーまたはインクが残りわずかです。
	トナーまたはインクがなくなりました。
	カバーが開いています。
	注意事項があります。プリンタを確認してください。
	エラーが発生しています。プリンタを確認してください。
	復旧できないエラーが発生しています。プリンタを確認し、必要に応じてサービス実施店に連絡してください。
	プリンタ機能から応答がありません。

スキャナーの状態表示アイコン

アイコン	説明
	読み取りできる状態です。
	読み取り中です。
	省エネモードで待機中です。
	原稿がつまっています。

アイコン	説明
	カバーが開いています。
	注意事項があります。スキャナーを確認してください。
	エラーが発生しています。スキャナーを確認してください。
	復旧できないエラーが発生しています。スキャナーを確認し、必要に応じてサービス実施店に連絡してください。
	スキャナー機能から応答がありません。

ファクスの状態表示アイコン

アイコン	説明
	送信できる状態です。
	送信中または読み取り中です。
	ウォームアップ中です。しばらくすると印刷できる状態になります。
	省エネモードで待機中です。
	用紙が残りわずかです。
	用紙がなくなりました。
	用紙がつまっています。
	原稿がつまっています。
	トナーまたはインクが残りわずかです。
	トナーまたはインクがなくなりました。
	カバーが開いています。
	通信エラーが発生しました。
	注意事項があります。ファクスを確認してください。

アイコン	説明
	コンピューターから設定処理をしているため使用できません。
	エラーが発生しています。ファクスを確認してください。
	復旧できないエラーが発生しています。ファクスを確認し、必要に応じてサービス実施店に連絡してください。
	ファクス機能から応答がありません。

コピーの状態表示アイコン

アイコン	説明
	コピーできる状態です。
	コピー中または読み取り中です。
	ウォームアップ中です。しばらくするとコピーできる状態になります。
	省エネモードで待機中です。
	用紙が残りわずかです。
	用紙がなくなりました。
	用紙がつまっています。
	原稿がつまっています。
	トナーまたはインクが残りわずかです。
	トナーまたはインクがなくなりました。
	カバーが開いています。
	注意事項があります。コピーを確認してください。
	エラーが発生しています。コピーを確認してください。

アイコン	説明
	復旧できないエラーが発生しています。コピーを確認し、必要に応じてサービス実施店に連絡してください。
	コピー機能から応答がありません。

給紙トレイの状態表示アイコン

アイコン	説明
	用紙の残量をアイコンで表します。
	もうすぐ用紙がなくなります。
	用紙がなくなりました。またはトレイがセットされていません。
	用紙がつまっています。
	カバーが開いています。
	その他のエラーが発生しています。

排紙トレイの状態表示アイコン

アイコン	説明
空欄	正常です。
	排紙トレイがいっぱいです。
	用紙があります。
	用紙がつまっています。
	カバーが開いています。
	その他のエラーが発生しています。

こんなときには

Network Monitor for Admin

問題	原因と対策
グループ名、機器の名前は何文字まで入力できますか？	47 文字以内です。漢字も入力できます。次の半角文字は入力できません。 " # * , / : ; < = > ? [¥] | 補足 • 前後に入力した半角スペースは削除されます。
コメントは何文字まで入力できますか？	31 文字以内です。漢字も入力できます。次の半角文字は入力できません。 , ; = [¥] 補足 • 前後に入力した半角スペースは削除されます。
同時に監視できる機器の台数に制限はありますか？	最大 1,000 台です。
登録できる機器の台数に制限はありますか？	最大 1,000 台です。
1 グループに登録できる機器の台数に制限はありますか？	最大 200 台です。
作成できるグループ数に制限はありますか？	最大 100 グループです。
機器検索一覧画面に他のネットワーク上の機器が表示されません。	機器検索一覧画面の検索・監視条件で他のネットワーク上の機器を検索するように指定しても、ネットワークのルーターの設定により検索できないことがあります。 監視プロトコルを IPv4 SNMPv1 に指定して、サブネットの指定で検索できなかった場合は、IPv4 アドレスの範囲で指定すると検索できることがあります。

問題	原因と対策
機器検索一覧画面の検索・監視条件の設定で、検索対象として指定できるネットワーク数や範囲数に制限がありますか？	監視プロトコルを IPv4 SNMPv1 に指定した場合、サブネットは 255 個まで、IPv4 アドレスの範囲は 255 個まで、ローカルネットとは別に指定できます。
監視プロトコルを IPv4 SNMPv3 に設定したら検索できません。	Web Image Monitor でセキュリティ項目に「SSL/TLS」が表示されているか確認し、SNMPv3 の設定を有効にしてください。
機器検索グループに他社の製品も表示されていますが同じように管理できますか？	機器検索グループには PrinterMIB をサポートしているプリンタも表示されます。このため、他社のプリンタが表示されることがあります。表示されるプリンタは、SNMPv1 でアクセスしているプリンタのみです。他社のプリンタの場合、監視対象にすることはできますが、動作等については保証していません。
機器検索一覧画面に機器が表示されないことがあります。	ネットワークの負荷や機器の状態によって、このような現象が発生したり、ウィンドウ内の表示が不安定になることがあります。
グループに機器の追加ができません。	追加しようとしているグループが、新規作成したグループであることを確認してください。機器検索一覧画面には機器を追加できません。
省エネモードのタイマー設定が実行されません。	この機能に対応していない機器があります。 タイマー設定は、指定した時刻に Network Monitor for Admin が起動し、設定したグループが開いている状態で使用してください。グループが閉じているとタイマー設定は動作しません。
機器の情報画面で［設定］ボタンが半輝度表示のため、選択できません。	機器の情報画面を次の方法で開いた場合、［設定］ボタンは使用できません。 • 機器検索一覧画面から開いた場合 • Hosts 画面から開いた場合 • IP アドレスを指定して開いた場合

問題	原因と対策
機器の情報画面の［構成］タブで［ネットワーク I/F］を選択すると、ノードアドレスとして「00:00:00:00:00:00」が表示されます。	Network Monitor for Admin は、IEEE1394 ボードのノードアドレス（EUI-64）を表示できません。 IEEE1394 ボードのノードアドレス（EUI-64）は、Web ブラウザから機器にアクセスして確認できます。Web ブラウザから機器にアクセスする方法は、P.21「Web ブラウザで機器の状態を確認する」を参照してください。
［認証に失敗しました。］というメッセージが表示され、ツールが起動できません。	機器のログインユーザー名とパスワードを確認してください。また、簡易暗号化使用制限が設定できる機種では簡易暗号化使用制限を［しない］に設定するか、SSL 通信を有効にしてください。
「このサイトの証明書の発行元は、信頼されてないか不明です。」というような［セキュリティの警告］ダイアログが表示されます。	SSL 通信を利用する場合、ご使用の機器の SSL 証明書が Web ブラウザにインストールされていないと、このダイアログが表示されます。 • 証明書をインストールする ［証明書の表示］をクリックし、画面の指示に従って証明書をインストールします。証明書をインストールすると、次回からこのダイアログは表示されなくなります。 • そのまま続行する ［はい］をクリックし、同じダイアログが表示されたら、再度［はい］をクリックします。この場合は証明書がインストールされていないと、通信の度にこのダイアログが表示されます。
SSL 証明書の認証を［いいえ］で拒否したのに操作ができてしまいました。	機器側の SSL 通信許可設定が「暗号文/平文」になっている場合は、SSL 証明書の認証を拒否しても平文で通信します。

アドレス情報管理ツール

問題	原因と対策
［この操作を実行する権限がありません。］というメッセージが表示され、ツールが起動できません。	認証機能とアクセス制限に対応した機器においてアドレス情報管理ツールを操作するには、ユーザー管理者権限を持った管理者の認証が必要です。

問題	原因と対策
SSL 通信を有効にする手順がわかりません。	アドレス情報管理ツールでは SSL の設定はありません。機器側で SSL 通信が有効のときは自動的に SSL 通信を行い、無効のときは平文通信を行います。
フォルダー認証で［別の認証情報を指定］が半輝度表示のため、選択できません。	フォルダー認証で［別の認証情報を指定］するには、フォルダー情報を先に入力する必要があります。フォルダー情報が入力されていない場合は、［別の認証情報を指定］を選択できません。
SMTP 認証、フォルダー認証、LDAP 認証でログインパスワード変更の確認がありません。	ログイン用認証情報で誤ったパスワードに変更すると二度とログインできなくなるという問題があるため、確認のパスワード入力を用意しています。 SMTP 認証、フォルダー認証、LDAP 認証でのログインパスワードは、大元のパスワードが外部で管理されており、アドレス情報管理ツールは一つのプロパティ値として扱われるため、確認のためのパスワード入力は用意しておりません。
［ファイル］メニューの［データの書き出し］で保存した CSV ファイルを使って、同じ機器に［データの取り込み］を行うとエラーになってしまいます。	ユーザー認証管理の設定がユーザーコード認証になっていませんか。ユーザーコードは半角数字のみ登録できます。半角数字以外の文字が含まれている場合は修正してください。
アドレス情報管理ツールで CSV ファイルを取り込んでアドレス帳を機器に取り込むと、登録最大ユーザー数（500 件）を超えていないのにエラーメッセージが表示されます。	CSV ファイルの取り込みで「ユーザー登録から宛先への変更」と、「新規ユーザーの追加」を同時に実行すると、元のユーザー登録件数と新規の追加ユーザー件数の合計が 500 件を超え、エラーになることがあります。 「ユーザーから宛先への変更」を終えてから、「新規ユーザーの追加」を実行してください。 補足 • アドレス帳にユーザーが 500 件、宛先が 2,000 件まで登録できる場合の例です。最大登録件数は機器によって異なります。 • ユーザーと宛先両方を登録する場合は、合計が 2,000 件まで登録できます。

問題	原因と対策
[機器への設定内容の送信に失敗しました。(85:6)]というメッセージが表示されます。	設定しようとしたユーザーコードまたはログイン認証情報が機器への登録時に重複すると、エラーが発生することがあります。ユーザーコードまたはログイン認証情報をユーザー間で入れ替えたり、付け替えたりする場合は、該当ユーザーを一旦削除してから設定をやり直してください。
[機器への設定内容の送信に失敗しました。(85:27)]というメッセージが表示されます。	既存のユーザーコードまたはログイン認証情報を削除し、他のユーザーでユーザーコードまたはログイン認証を追加している場合、一旦、削除作業だけした設定内容を送信してください。その後、他のユーザーにユーザーコードまたはログイン認証情報を追加して、再度[設定内容の送信]をクリックしてください。 あるいは、1 グループに所属できるユーザー数やグループ数が機器側の登録可能件数を超えている可能性があります。登録可能件数を超えない範囲で登録してください。登録可能件数については、機器の使用説明書を参照してください。
設定内容を送信している途中で処理をキャンセルしたのち、再度[設定内容の送信]をクリックすると、[機器の情報が更新されています。再取得しなおしてください。(85:19)]というメッセージが表示されます。	お使いの機種によっては、キャンセルした時点でツール側のデータと機器側のデータで整合が取れなくなり、データの不整合を防止するために再送信ができなくなる場合があります。 この場合、[表示]メニューの[機器の情報を再取得]をクリックして機器側のデータを一度取得してから、再度、編集した設定内容を機器に反映してください。 機器の情報を再取得すると編集中のデータが失われるので、[機器の情報を再取得]をクリックする前に、[ファイル]メニューの[データの取り込み]をクリックして CSV ファイルにデータを保存してください。

索引

アルファベット

CSV ファイルの取り込み
- アドレス情報管理ツール....58
- ユーザー情報管理ツール....72

CSV ファイルのフォーマット
- アドレス情報....79
- ユーザー情報....78
- ユーザー別印刷枚数....77

Hosts ファイル
- グループ情報を保存....31
- グループとして開く....32
- 形式....31

Network Monitor for Admin でできること....9

あ

アドレス情報管理ツール
- CSV ファイルの書き出し....57
- CSV ファイルの取り込み....58
- CSV ファイルのフォーマット....79
- 機器情報の取得....62
- 機器に設定を反映....62

アドレス帳
- 一覧....43
- グループ情報の変更....56
- グループにユーザーを追加....56
- グループの削除....55
- グループの追加....52
- データのバックアップ....60
- 登録....58
- 取り込み....58
- ユーザー情報の変更....52
- ユーザーの削除....51
- ユーザーの追加....47
- リストア....60

アンインストール....15
インストール....13
おことわり....6

か

カウンター情報のリセット....64
管理者別機能一覧....72
機器
- グループ間でコピー/移動....28
- 検索....20
- 状態通知....34
- 情報の取得....20, 62, 75
- 情報の表示....17
- スプールジョブを確認/削除....39
- 設定の反映....62, 75
- 操作の制限....38
- 追加....27
- 用紙種類を設定....38

グループ
- Hosts ファイルとして保存....31
- 監視条件設定....34
- 機器をコピー/移動....28
- 機器を削除....31
- 機器を追加....27
- 削除....31
- 作成....27
- 表示項目....28
- 開く....28

検索監視条件....17
この本の読みかた....4
こんなときには....91

さ

省エネーモード....33
詳細情報
- 機器の状態....22

状態通知....34
状態表示アイコン
- 機器....86
- 給紙トレイ....90
- コピー....89
- システム....86
- スキャナー....87
- 排紙トレイ....90
- ファクス....88
- プリンタ....86

商標....7

た

ツール
- アドレス情報管理ツール....43
- ユーザー情報管理ツール....63

動作環境....11
トータルカウンター情報の出力....33

ま

マークについて....4

や

ユーザー
- 検索....69
- 削除....69
- 追加....68
- 登録....72

ユーザー情報
- 書き出し....71
- 変更....67

ユーザー情報管理ツール
- CSV ファイルの書き出し....71
- CSV ファイルの取り込み....72
- CSV ファイルのフォーマット....78
- 機器情報の取得....75
- 機器に設定を反映....75

ユーザー情報の書き出し
- アドレス情報管理ツール....57
- ユーザー情報管理ツール....71

MEMO

MEMO

© 2010 Ricoh Co., Ltd.

Network Monitor for Admin 操作ガイド

JA (JP) 2010年11月 M372-8050